

令和5年度（2023年度）

京都市福祉ボランティアセンター事業

年 報

京都市福祉ボランティアセンター

（設置：京都市 運営：社会福祉法人京都市社会福祉協議会）

目 次

I 京都市福祉ボランティアセンターの活動状況

1 概説.....	1
2 成果と課題	1
3 京都市福祉ボランティアセンター事業実績.....	2
4 京都市福祉ボランティアセンター事業	4

II 各区ボランティアセンターの活動状況

1 区ボランティアセンター運営事業実施要綱.....	27
2 各区ボランティアセンターの活動状況	29

III 参考資料

資料 1 京都市福祉ボランティアセンター実績数値（概況）	63
資料 2 京都市福祉ボランティアセンター要綱等	69

I 京都市福祉ボランティアセンターの活動状況

福祉ボラセンキャラクター「ふたば」



1 概説

新型コロナウイルス感染症の 5 類移行により休止・停滞していたボランティア活動等が再開され、広報、助成金、運営方法等の研修・ボランティア入門講座、相談対応など、ボランティア団体やボランティアをはじめたい人への対面やオンラインでのさまざまな活動支援が求められています。

一方、生活困窮の深刻化の課題や、社会的孤立、ひきこもり、ヤングケアラー、セクシャルマイノリティなど、多様な生きづらさが浮き彫りになっており、当事者の思いに寄り添った社会参加の場や、多様性を認め合う地域社会づくりのため、社会課題に対応した福祉教育の充実と多機関との協働が必要です。

また、令和 6 年 1 月に発生した能登半島地震に際し、京都市災害ボランティアセンターとして、被災地支援に取り組みました。あわせて、京都市での発災に備えたセンター機能の強化と京都府災害ボランティアセンターをはじめ多様な機関・団体との連携構築に努めます。

2 成果と課題

(1) 多様な主体との協働関係の構築と問題解決機能の強化

「kyoto ころつながるプロジェクト」では、市区社協・部署間での連携や関係機関・団体との協働により、課題を抱える当事者と市民をつなぐ機会を社協全体で作り出しています。本センターが主管として実施した「つながるフェス」では、当事者団体によるワークショップや福祉事業所の販売・啓発や、学生が運営する団体の参画などにより、市民と団体の新たな出会いを生み出す場となりました。

また、きょうと「こどもみらい笑顔便」は、ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区、京都市との協働により、支援が必要な子育て世帯 229 世帯へ食品等の配送を行い、「経済的に苦しい中、誰かとのつながりを感じられた」「子どもの喜ぶ顔が心のゆとりになった」などの感想が寄せられました。

今後、重層的な支援が全市的に展開されることをふまえ、本センターとしても、当事者を含め誰もが参加・活動できるセンターを目指し、活動場面の提供や参加できる環境整備を行い、より多くの連携・協働によりボランティア活動の振興に取り組みます。

(2) 社協の総合力を活かした福祉教育の推進

「思いを聴く～当事者・当事者家族～」では、当事者からの発信による福祉教育推進に努めました。

令和 5 年度は、強迫症当事者家族、障がいのあるきょうだいを持つ人、ヘアロス当事者など社会的認知度が低いと思われる課題についても当事者・家族から発言いただき、より多様な社会課題の発信に努めました。また、職能団体を通じて福祉事業従事者への参加を呼びかけた他、出張講座で区域やより身近なエリアでの交流を通して理解促進にも取り組みました。

今後もより多様な社会課題にともに向き合うことで、幅広い世代を対象とした福祉教育とボランティア振興を展開していきます。

(3) 市・区災害ボランティアセンター事業・活動の充実

各区社協並びに区役所・支所と連携し、災害ボランティアセンター設置・運営にかかる担当職員への研修と、各区でのマニュアルの運用に関する検証と訓練への協力を行いました。また、幅広い市民への啓発と理解促進のため、災害時要配慮者への対応を学ぶ研修や出張講座・研修など、人材育成の強化に取り組みました。

さらに、能登半島地震への対応として、現地の情報収集と調整、また京都府災害ボランティアセン

ターとの連携によりボランティアバスを派遣し、被災地支援を行いました。

今後も、他都市での被災地支援と、京都での発災に備えた更なる基盤整備を目指して、企業や大学、NPO 法人を含む市民活動団体との連携を推進し、より具体的な体制づくりに取り組みます。

3 京都市福祉ボランティアセンター事業実績

(1) 多様な主体との協働関係の構築と問題解決機能の強化

・『kyoto ころつながるプロジェクト』の開催

	実施内容
強化期間 10～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・「つながるフェス」令和5年12月2日(土) ゼスト御池 河原町広場、QUESTION 当事者団体や支援団体によるワークショップ、福祉事業所等販売 1,224人 ・シンポジウム「社会福祉施設との協働でひろがるまちづくり」 79人 ・ころつながれ～わたしのお気に入り、私の日常、ワタシの気持ち～ ①作品展示(来場287人) ②ワークショップ(来場145人)
通年取組	イベント等; 14団体、28件、4,498人・情報発信; 11団体、12件

(2) 社協の総合力を活かした福祉教育の推進

・市域での「思いを聴く～当事者・当事者家族の思い～」の開催

テーマ	開催日	参加人数	テーマ	開催日	参加人数
犯罪被害者家族	5/19	44	強迫症当事者家族	10/20	54
医療的ケア児	6/9	48	ヘアロス当事者	11/17	21
食物アレルギー	7/21	20	障がい児者きょうだい	12/15	21
いじめや不登校	8/25	52	生きづらさを抱える女性	1/19	54
社会的養護の経験	9/15	24	がんで声帯を失った人	2/15	20

・区域・身近な単位への出張講座「思いを聴く～当事者・当事者家族～」

テーマ	開催日	参加人数	テーマ	開催日	参加人数
若年性認知症	7/21	42	セクシャルマイノリティ	11/15	21
発達障がい	7/25	50	ヤングケアラー	12/8	50
ヤングケアラー	8/2	48	若年性認知症	12/15	21
8050問題	10/6	46	発達障がい	2/19	22
不登校・ひきこもり	11/2	19	※ファシリテーターの派遣	2/6	66

(3) 市・区災害ボランティアセンター事業・活動の充実

・災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルについての協議や検証

実施内容	回数
区災害ボランティアセンター設置候補地での検証訓練等	16

・発災時に向けての人材育成(ボランティアバスの派遣)

実施内容	開催日	参加人数
------	-----	------

「令和5年台風7号」の被害による被災地への派遣 【派遣先】 綾部市災害ボランティアセンター	8/29	27
「令和6年能登半島地震」の被害による被災地への派遣 【派遣先】 七尾市災害ボランティアセンター	2/7～8	24
	2/14～15	24
	2/25～26	25

4 京都市福祉ボランティアセンター事業

1 センターの運営・管理

(1) 京都市福祉ボランティアセンター運営委員会の開催

回	開催日	議題
第1回	令和5年5月22日(月)	・令和4年度事業報告等について ・情報交換
第2回	令和6年2月29日(木)	・令和6年度事業計画(案)について ・情報交換

(2) 利用登録団体の管理

利用登録団体を対象にセンターの利用頻度や目的、設備や備品についてのアンケートを実施し、利用者のニーズ把握に努めました。

【送付数】382 団体 【回答数】198 団体 [11 調査・研究 に再掲]

(3) ボランティアビューローの運営管理

市域で活動するボランティアグループ連絡会の活動が円滑に展開できるよう、ビューロー内に設置した大型ロッカーの市域連絡会への貸出、また、京都ボランティア協会と連携し、多くのボランティアの活動の場としてボランティアビューローを開放しました。

【ロッカーの貸出】6 連絡会

【ボランティアビューロー利用者】280 団体、延べ 2,742 名

(4) パソコンコーナーの運営管理 [管理部との連携]

高齢者及び障がいのある市民等の福祉の向上を図るとともに、ボランティアの専門性をより高めることを目的に、京都市福祉ボランティアセンター利用登録団体の内、高齢者及び障がいのある市民等の福祉の向上を図ることを目的に活動を行うパソコンボランティア団体等に対して講習スペース等の供用を行いました。

【利用団体】5 団体他

【相談および講習への来所者】延べ 1,162 名 【対応ボランティア人数】延べ 1,327 名

2 区ボランティアセンターとの連携・協働

(1) 「区ボランティアセンター運営事業」の区社協委託と進捗管理

(2) 業務担当者会議の開催

第2水曜日に「地域福祉コーディネーター会議」を地域支援部と共管の上開催しました。

各区ボランティアセンター事業の進捗確認、相談対応による地域(生活)課題とその解決に向け、協議しました。

3 情報収集・発信

(1) ホームページからの情報発信

本センター主催事業やボランティア関連情報及びボランティアグループ、市民活動団体からの情報等について、随時ホームページを更新して情報発信しました。

【アクセス件数】計 76,062 件(月平均:6,339 件)

(2) SNS(Facebook、X、Instagram)を活用した情報発信

新たに Instagram を加えた 3 種類の SNS で、イベント・講座情報やボランティア募集等の情報発信を多世代に向けて行いました。

- ア Facebook【回数】103 件
- イ X(旧 twitter)【回数】103 件
- ウ Instagram【回数】103 件

(3) **メールマガジン(週刊・助成情報を含む)の発行**

2 種類のメールマガジンの発行により、利用者のニーズや利便性を考慮し、適切で迅速な情報発信に努めました。

- ア 「ボランティア京都」(ボランティア募集・イベント情報等)の発信
【登録者】835 名
- イ 「助成金情報」の発信(随時)
【登録者】604 名 【回数】90 回(298 件)

(4) **団体・活動情報サーチシステムの管理運営**

「団体・活動情報サーチ」システムを活用し、イベントや研修、ボランティア募集などの情報を発信しました。また、登録団体へアンケートを行い、団体情報を更新しました。

【登録団体】191 団体 【情報発信件数】498 件

(5) **月刊誌「ボランティアーズ京都」の発行**

ボランティア活動を希望している人、関心のある人への情報提供のため月刊誌を発行しました。

【発行回数年間 12 回 【発行部数】各回 10,000 部

【内容】ボランティア活動促進・啓発等に係る特集記事、ボランティア募集、イベント情報、セルフヘルプ(自助)グループ情報、区ボランティアセンターからの情報等

【発送先】2, 109 か所

号	特集記事
4 月号(221 号)	ボランティアって楽しいよ!
5 月号(222 号)	「学校に行かない」と言われた時
6 月号(223 号)	自分を助ける ～聞いて変わる 話して気付く～
7 月号(224 号)	遊んで! 学んで! 子どもの成長を応援するボランティア
8 月号(225 号)	助成金を活用しよう!
9 月号(226 号)	好き! から始めるボランティア活動
10 月号(227 号)	みんなで楽しむ! 知る! 考える! 学生ボランティア活動
11 月号(228 号)	お寺が取り組む福祉活動
12 月号(229 号)	知っていますか?きょうだいが分かち合える場所
1 月号(230 号)	「話せる」あんしん「伝える」よろこび
2 月号(231 号)	ゼロから作るチラシ講座
3 月号(232 号)	ボランティア活動、はじめてみない?

(6) **福祉・ボランティア活動に関する資料の集積・提供**

ア ボランティアパークでの配架資料

市内・全国の福祉・ボランティア団体・グループ等の広報物 948 件

(内訳:ボランティア募集情報 54 件、イベント・講座情報 600 件、団体情報・広報等 294 件)

イ ボランティア情報コーナー閲覧用の登録資料

福祉・ボランティア関連書籍、映像資料、報告書類など 2,681 点

※「ひと・まち交流館京都」図書コーナー貸出用含む

(7) マスメディアを活用した情報発信

京都新聞、市民しんぶん、テレビやラジオ局などマスメディアに対し、適時に講座やイベント情報等の提供を行いました。

(8) 各種チラシ、リーフレット、冊子等の作成・発行

本センター事業に関わる各種チラシを随時発行しました。

4 研修・人材育成

(1) ボランティア入門・体験講座の開催 [5(2)ボランティア活動サポート講座に再掲]

ア Let's ボランティア! ボランティア入門講座

開催日	内容	人数
令和5年4月28日(金)	「Let's ボランティア! ボランティア入門講座」	8名
令和5年5月31日(水)	講師 京都市福祉ボランティアセンター	13名
令和5年6月28日(水)	ゲスト	15名
令和5年7月21日(金)	京都史跡ガイドボランティア協会(4月)	13名
令和5年8月28日(月)	市民ボランティアグループ「ユニーズ京都」(5月)	10名
令和5年9月26日(火)	NPO 法人京都教育サポートセンター(6月)	7名
令和5年10月26日(木)	ほっとマナ(7月)	7名
令和5年11月30日(木)	わの会・京都(8月)	4名
令和5年12月18日(月)	京都市災害ボランティアセンター(9月)	6名
令和6年1月24日(水)	NPO 法人チャイルドライン京都(10月)	12名
令和6年2月27日(火)	一般社団法人京都障害者スポーツ振興会(11月)	13名
令和6年3月11日(月)	ぱそぼらんど京都(12月)	19名
	社会福祉法人京都いのちの電話(1月)	
	京都生活協同組合くらしの助け合いの会(2月)	
	ブックトークと本棚の会(3月)	

イ Let's チャレンジ! 助成金準備講座

開催日	内容	人数
令和6年3月7日(木)	Let's チャレンジ! 助成金準備講座 講師 京都市福祉ボランティアセンター	14名

ウ 「思いを聴く～当事者・当事者家族の思い～」の開催

当事者や当事者家族から、自身の経験や支援者との出会い、支援者とした活動に至った経緯や団体の活動などのこれまでの経験や変化、今そしてこれからの思いを発信していただく場として開催しました。

(ア) 思いを聴く～当事者・当事者家族の思い～

ファシリテーター 精神保健福祉士 浜内 彩乃 氏

開催日	テーマ	ゲスト	人数
令和5年5月19日(金)	犯罪被害者家族	NPO 法人ルミナ 代表 中江 美則 氏	44名
令和5年6月9日(金)	医療的ケアが必要な 子どもの家族	NPO 法人 i-care kids 京都 清水 千明 氏	48名
令和5年7月21日(金)	食物アレルギーの当 事者と家族	nichi cafe 竹谷 日向 氏 認定 NPO 法人 FaSoLabo 京都 小谷 智恵 氏	30名

開催日	テーマ	ゲスト	人数
令和5年8月25日(金)	学生時代にいじめや不登校を経験、精神疾患を発症される。現在はその経験からの気づきを発信する活動に取り組む。	たける 氏	52名
令和5年9月15日(金)	社会的養護を経験し生きやすくなるコツを求めて	Children's Views & Voices 相馬 Mikako 氏	34名
令和5年10月20日(金)	強迫症当事者家族	強迫友の会 OBRI オブリ 今吉 扶美 氏	54名
令和5年11月17日(金)	ヘアロス当事者	NPO 法人 Alopecia Style Project Japan 松岡 千尋 氏	21名
令和5年12月15日(金)	障がいのあるきょうだいをもつ人	京都きょうだい会 奥 真木 氏	31名
令和6年1月19日(金)	生きづらさを抱える女性のひとりとして	なないろ会 藤野 あけみ 氏	54名
令和6年3月15日(金)	がんにより声帯を失った人	京都喉友会 林田 五郎 氏	30名

(イ) トークセッション

開催日	内容	人数
令和5年7月30日(日)	わたしたちのしあわせを考える座談会 ファシリテーター 精神保健福祉士 白水 育世 氏 スピーカー 朝倉 美保 氏(NPO 法人 Reframe) 大久保 暁 氏(暁 project) 河西 優 氏(子ども・若者ケアラーの声を届けようPJ 発起人)	29名
令和6年2月16日(金)	地域での暮らしを支える「つながり」づくりとは ファシリテーター 精神保健福祉士 浜内 彩乃 氏 スピーカー NPO 法人 i-carekids 京都 清水 千明 氏 強迫友の会 OBRI オブリ 今吉 扶美 氏	36名

エ 「思いを聴く～当事者・当事者家族～」新たな福祉教育推進事業

社会的に孤立しがちな人やその家族など誰もが安心して暮らせる共生社会を実現するため、区域や学校や企業などの単位で当事者やその家族の思いを発信し、地域社会の課題を我が事として捉える機会を提供するため開催しました。

開催日	テーマ	ゲスト	依頼団体	人数
令和5年7月21日(金)	若年性認知症	下坂 厚 氏	嵯峨野学区社協	43名
令和5年7月25日(火)	発達障がい	朝倉 美保 氏	北区はぐくみネットワーク	50名
令和5年8月3日(木)	ヤングケアラー	朝田 健太 氏	京都市岩倉地域包括支援センター	48名
令和5年10月6日(金)	8050 問題	藤本 文朗 氏	京都市御池地域包括支援センター	46名
令和5年11月2日(金)	不登校・ひきこもり	上坂 秀喜 氏	伏見西はぐくみネットワーク	19名
令和5年11月15日(水)	セクシャルマイノリティ	いよたみのり 氏	京都教育大学附属高等学校	31名
令和5年12月8日(金)	ヤングケアラー	河西 優 氏	京都市 PTA 連絡協議会	50名
令和5年12月15日(金)	若年性認知症	下坂 厚 氏	山科区社会福祉協議会	31名
令和6年2月19日(月)	発達障がい	朝倉 美保 氏	上京区社会福祉協議会	23名

開催日	テーマ	ゲスト	依頼団体	人数
令和6年3月6日(水)	※ファシリテーターの派遣		京都市東部地域障害者自立支援協議会	66名

オ グラフィック・レコーディング・セミナー

開催日	内容	人数
令和5年12月9日(土) 基礎編	グラフィック・レコーディング・セミナー 講師 三宅 正太 氏	34名
令和6年1月20日(土) 応用編		16名

カ 助成金活用セミナー(共催 京都市市民活動総合センター)

開催日	内容	人数
令和5年8月19日(土)	助成金を知ろう! 講義 助成金とは ワーク 助成金要項を読んで、申請書に記入してみよう 参考 全国労働者共済生活協同組合連合会こくみん共済 coop 講師 NPO 法人きょうとNPO センター 土坂 のり子 氏	21名
令和5年9月2日(土)	助成財団・企業と会おう! 話そう! 参加財団・企業の事業の説明等 ①公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団 ②全国労働者共済生活協同組合連合会こくみん共済 coop ③公益財団法人さわやか福祉財団 ④阪急阪神ホールディングス株式会社	27名

キ 集まれ! 学生団体のチカラ～学生の思いを広げるカタチを探る～

開催日	内容	人数
令和5年5月21日(日)	ファシリテーター 京都市福祉ボランティアセンター スピーカー 学習支援・居場所づくりサークル満天 日本語支援団体りんぐえっじ NPO 法人日本教育再興連盟(ROJE) 災害と教育事業部わたげプロジェクト	22名

ク はじめて主催する人のための Zoom 講座

開催日	内容	人数
令和5年6月2日(金)	基礎・応用	6名
令和5年11月10日(金)	講師 京都市地域ITアドバイザー会	8名

ケ 助成金活用支援入門講座

開催日	内容	人数
令和5年7月4日(火)	大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」について 講師 京都市福祉ボランティアセンター	3名

コ 自分を守る～災害&からだ編～

開催日	内容	人数
令和5年8月6日(日)	講師 NPO 法人日本教育再興連盟(ROJE) わたげプロジェクト NPO 法人お客様がいらっしゃいました.	11名

サ はじめての電子マネー (PayPay) 講座

開催日	内容	人数
令和 5 年 9 月 29 日 (金)	講師 花パン	16 名
令和 5 年 11 月 17 日 (金)		13 名

シ マンツーマンで教わる! シニアのスマホ解決講座(共催 花パン)

開催日	内容	人数
令和 6 年 1 月 24 日 (水)	講師 花パン	12 名

ス 分野別合同ケース検討会～活動団体をみんなで応援!～

(共催 京都市市民活動総合センター・京都市青少年活動センター)

開催日	内容	人数
令和 6 年 2 月 26 日 (月)	自己紹介 センターの強みなど グループワーク 相談あるある 事例紹介 NPO 法人お客様がいらっしゃいました。	14 名

セ 情報発信のコツ講座 今より伝わるチラシの作り方

開催日	内容	人数
令和 6 年 3 月 5 日 (火)	1 「誰に何を伝えたいか」を意識する 2 いままでよりも「ちょっと」キレイに作るポイントを知る 講師 NPO 法人やさしいデザイン 山中 美知世 氏 (グラフィックデザイナー)	43 名

ソ 広報企画プロジェクト

おれんじサロン ひと・まち(主催 京都市長寿すこやかセンター)に参加する若年性認知症当事者の「若い人にも認知症のことをもっと知ってもらいたい」という声を受けて、認知症啓発について、当事者と 30 歳までの若い方がともに考える取組を京都市長寿すこやかセンターとの共催で実施しました。

開催日	内容	人数
令和 5 年 8 月 6 日 (土)	参加前・参加後での認知症のイメージの変化 当事者のレクチャー「若年性認知症ってどんな生活?」 プロジェクトでやってみたいこと	14 名
令和 5 年 9 月 2 日 (土)	参加前・参加後での認知症の人が困っていることのイメージの変化 当事者からのレクチャー「日頃の生活の困りごと等」 当事者・家族へのインタビュー	18 名
令和 5 年 9 月 23 日 (土)	当事者へのインタビュー インタビューから物語の構成(当事者編・家族編)	3 名
令和 5 年 10 月 7 日 (土)	物語の共有 Instagram・成果物班、イベント班作業	14 名
令和 5 年 11 月 11 日 (土)	Instagram・成果物班、イベント班作業	14 名
令和 5 年 12 月 2 日 (土)	つながるフェス(ゼスト御池)出展	15 名
令和 6 年 1 月 13 日 (土)	成果物作成のための協議 1	2 名
令和 6 年 2 月 3 日 (土)	成果物作成のための協議 2	3 名

Instagram【回数】30 件

報告冊子「私たちが伝えたい本当の声 京都から」【発行部数】1, 000 部



Let's ボランティア! ボランティア入門講座



思いを聴く～当事者・当事者家族の思い～

5 インクルーシブ社会実現に向けた福祉教育の推進と人材養成

(1) ほほえみ交流活動支援事業

学校や地域などにおいて、障がいのある人とない人が相互に交流する機会を広げることにより、障がいや障がいのある人への理解を促進する取組であるほほえみ交流活動事業推進委員会に出席しました。

(2) ボランティア活動サポート講座

オンライン会議等の開催のための講座や活動者のニーズ・困りごとに対応するテーマの講座を開催しました。[4(1)ボランティア入門・体験講座の再掲]

ア Let's ボランティア! ボランティア入門講座

開催日	内容	人数
令和5年4月28日(金)	「Let's ボランティア! ボランティア入門講座」	8名
令和5年5月31日(水)	講師 京都市福祉ボランティアセンター	13名
令和5年6月28日(水)	ゲスト 京都史跡ガイドボランティア協会(4月)	15名
令和5年7月21日(金)	市民ボランティアグループ「ユニーズ京都」(5月)	13名
令和5年8月28日(月)	NPO 法人京都教育サポートセンター(6月)	10名
令和5年9月26日(火)	ほっとマナ(7月)	7名
令和5年10月26日(木)	わの会・京都(8月)	7名
令和5年11月30日(木)	京都市災害ボランティアセンター(9月)	4名
令和5年12月18日(月)	NPO 法人チャイルドライン京都(10月)	6名
令和6年1月24日(水)	一般社団法人京都障害者スポーツ振興会(11月)	12名
令和6年2月27日(火)	ばそぼらんど京都(12月)	13名
令和6年3月11日(月)	社会福祉法人京都いのちの電話(1月)	19名
	京都生活協同組合くらしの助け合いの会(2月)	
	ブックトークと本棚の会(3月)	

イ Let's チャレンジ! 助成金準備講座

開催日	内容	人数
令和6年3月7日(木)	Let's チャレンジ! 助成金準備講座 講師 京都市福祉ボランティアセンター	14名

ウ 「思いを聴く～当事者・当事者家族の思い～」の開催

当事者や当事者家族から、自身の経験や支援者との出会い、支援者とした活動に至った経緯や団体の活動などのこれまでの経験や変化、今そしてこれからの思いを発信していただく場として開催しました。

(ア) 思いを聴く～当事者・当事者家族の思い～

ファシリテーター 精神保健福祉士 浜内 彩乃 氏

開催日	テーマ	ゲスト	人数
令和5年5月19日(金)	犯罪被害者家族	NPO 法人ルミナ 代表 中江 美則 氏	44名
令和5年6月9日(金)	医療的ケアが必要な子どもの家族	NPO 法人 i-care kids 京都 清水 千明 氏	48名
令和5年7月21日(金)	食物アレルギーの当事者と家族	nichi cafe 竹谷 日向 氏 認定 NPO 法人 FaSoLabo 京都 小谷 智恵 氏	30名

開催日	テーマ	ゲスト	人数
令和5年8月25日(金)	学生時代にいじめや不登校を経験、精神疾患を発症される。現在はその経験からの気づきを発信する活動に取り組む。	たける 氏	52名
令和5年9月15日(金)	社会的養護を経験し生きやすくなるコツを求めて	Children's Views & Voices 相馬 Mikako 氏	34名
令和5年10月20日(金)	強迫症当事者家族	強迫友の会OBRI オブリ 今吉 扶美 氏	54名
令和5年11月17日(金)	ヘアロス当事者	NPO 法人 Alopecia Style Project Japan 松岡 千尋 氏	21名
令和5年12月15日(金)	障がいのあるきょうだいをもつ人	京都きょうだい会 奥 真木 氏	31名
令和6年1月19日(金)	生きづらさを抱える女性のひとりとして	なないろ会 藤野 あけみ 氏	54名
令和6年3月15日(金)	がんにより声帯を失った人	京都喉友会 林田 五郎 氏	30名

(イ) トークセッション

開催日	内容	人数
令和5年7月30日(日)	わたしたちのしあわせを考える座談会 ファシリテーター 精神保健福祉士 白水 育世 氏 スピーカー 朝倉 美保 氏(NPO 法人 Reframe) 大久保 暁 氏(暁 project) 河西 優 氏(子ども・若者ケアラーの声を届けようPJ 発起人)	29名
令和6年2月16日(金)	地域での暮らしを支える「つながり」づくりとは ファシリテーター 精神保健福祉士 浜内彩乃氏 スピーカー NPO 法人 i-carekids 京都 清水 千明 氏 強迫友の会 OBRI オブリ 今吉 扶美 氏	36名

エ 「思いを聴く～当事者・当事者家族～」新たな福祉教育推進事業

社会的に孤立しがちな人やその家族など誰もが安心して暮らせる共生社会を実現するため、区域や学校や企業などの単位で当事者やその家族の思いを発信し、地域社会の課題を我が事として捉える機会を提供するため開催しました。

開催日	テーマ	ゲスト	依頼団体	人数
令和5年7月21日(金)	若年性認知症	下坂 厚 氏	嵯峨野学区社協	43名
令和5年7月25日(火)	発達障がい	朝倉 美保 氏	北区はぐくみネットワーク	50名
令和5年8月3日(木)	ヤングケアラー	朝田 健太 氏	京都市岩倉地域包括支援センター	48名
令和5年10月6日(金)	8050 問題	藤本 文朗 氏	京都市御池地域包括支援センター	46名
令和5年11月2日(金)	不登校・ひきこもり	上坂 秀喜 氏	伏見西はぐくみネットワーク	19名
令和5年11月15日(水)	セクシャルマイノリティ	いよた みのり 氏	京都教育大学附属高等学校	31名
令和5年12月8日(金)	ヤングケアラー	河西 優 氏	京都市 PTA 連絡協議会	50名
令和5年12月15日(金)	若年性認知症	下坂 厚 氏	山科区社会福祉協議会	31名
令和6年2月19日(月)	発達障がい	朝倉 美保 氏	上京区社会福祉協議会	23名
令和6年3月6日(水)	※ファシリテーターの派遣		京都市東部地域障害者自立支援協議会	66名

オ グラフィック・レコーディング・セミナー

開催日	内容	人数
令和5年12月9日(土) 基礎編	グラフィック・レコーディング・セミナー 講師 三宅 正太 氏	34名
令和6年1月20日(土) 応用編		16名

カ 助成金活用セミナー(共催 京都市市民活動総合センター)

開催日	内容	人数
令和5年8月19日(土)	助成金を知ろう! 講義 助成金とは ワーク 助成金要項を読んで、申請書に記入してみよう 参考 全国労働者共済生活協同組合連合会こくみん共済 coop 講師 NPO 法人きょうとNPO センター 土坂 のり子 氏	21名
令和5年9月2日(土)	助成財団・企業と会おう! 話そう! 参加財団・企業の事業の説明等 ①公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団 ②全国労働者共済生活協同組合連合会こくみん共済 coop ③公益財団法人さわやか福祉財団 ④阪急阪神ホールディングス株式会社	27名

キ 集まれ! 学生団体のチカラ～学生の思いを広げるカタチを探る～

開催日	内容	人数
令和5年5月21日(日)	ファシリテーター 京都市福祉ボランティアセンター スピーカー 学習支援・居場所づくりサークル満天 日本語支援団体りんぐえっじ NPO 法人日本教育再興連盟(ROJE) 災害と教育事業部わたげプロジェクト	22名

ク はじめて主催する人のための Zoom 講座

開催日	内容	人数
令和5年6月2日(金)	基礎・応用	6名
令和5年11月10日(金)	講師 京都市地域ITアドバイザー会	8名

ケ 助成金活用支援入門講座

開催日	内容	人数
令和5年7月4日(火)	大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」について 講師 京都市福祉ボランティアセンター	3名

コ 自分を守る～災害&からだ編～

開催日	内容	人数
令和5年8月6日(日)	講師 NPO 法人日本教育再興連盟(ROJE) 災害と教育事業部わたげプロジェクト NPO 法人お客様がいらっしゃいました。	11名

サ はじめての電子マネー(PayPay)講座

開催日	内容	人数
令和5年9月29日(金)	講師 花パン	16名
令和5年11月17日(金)		13名

シ マンツーマンで教わる! シニアのスマホ解決講座(共催 花パン)

開催日	内容	人数
令和6年1月24日(水)	講師 花パン	12名

ス 分野別合同ケース検討会～活動団体をみんなで応援!～

(共催 京都市市民活動総合センター・京都市青少年活動センター)

開催日	内容	人数
令和6年2月26日(月)	自己紹介 センターの強みなど グループワーク 相談あるある 事例紹介 NPO 法人お客様がいらっしゃいました.	14名

セ 情報発信のコツ講座 今より伝わるチラシの作り方

開催日	内容	人数
令和6年3月5日(火)	1 「誰に何を伝えたいか」を意識する 2 いままでよりも「ちょっと」キレイに作るポイントを知る 講師 NPO 法人やさしいデザイン 山中 美知世 氏 (グラフィックデザイナー)	43名

ソ 広報企画プロジェクト

おれんじサロン ひと・まち(主催 京都市長寿すこやかセンター)に参加する若年性認知症当事者の「若い人にも認知症のことをもっと知ってもらいたい」という声を受けて、認知症啓発について、当事者と30歳までの若い方がともに考える取組を京都市長寿すこやかセンターとの共催で実施しました。

開催日	内容	人数
令和5年8月6日(土)	参加前・参加後での認知症のイメージの変化 当事者のレクチャー「若年性認知症ってどんな生活?」 プロジェクトでやってみたいこと	14名
令和5年9月2日(土)	参加前・参加後での認知症の人が困っていることのイメージの変化 当事者からのレクチャー「日頃の生活の困りごと等」 当事者・家族へのインタビュー	18名
令和5年9月23日(土)	当事者へのインタビュー インタビューから物語の構成(当事者編・家族編)	3名
令和5年10月7日(土)	物語の共有 Instagram・成果物班、イベント班作業	14名
令和5年11月11日(土)	Instagram・成果物班、イベント班作業	14名
令和5年12月2日(土)	つながるフェス(ゼスト御池)出展	15名
令和6年1月13日(土)	成果物作成のための協議1	2名
令和6年2月3日(土)	成果物作成のための協議2	3名

Instagram【回数】30件

報告冊子「私たちが伝えたい本当の声 京都から」【発行部数】1,000部

6 災害ボランティア活動

(1) 災害ボランティア講座の開催 [7(2)災害ボランティア入門講座に再掲]

災害時に活動する人材(京都市災害ボランティアセンターサポーター)の育成のため、関心のある市民や大学ボランティアセンター等と連携し講座を開催しました。

開催日	内容	人数
令和5年11月3日(土)	令和5年度災害ボランティア入門講座 講師 一般社団法人ピースボート災害支援センター 関根 正孝 氏 京都市災害ボランティアセンター 構成団体 内容 ①自分の身を守るためには… ②災害の種類と防災・減災の基礎知識 ③災害ボランティア活動の種類と心構え ④京都市災害ボランティアセンターの概要説明	29名

(2) 災害時の協力に関する企業・大学等との連携

企業・大学との連携は、前述(1)及び京都市中小企業家同友会から市・区総合防災訓練の参画を得ることができました。[8(3)イ(イ)に再掲]

(3) 区総合防災訓練における区災害ボランティアセンターの啓発及び設置候補地での検証訓練

[区社協との共催]

区総合防災訓練の一環として、区民への区災害ボランティアセンターの周知、及び設置候補地でのセンター設置の検証を目的として、区社協及び区役所等と連携した訓練の企画・運営に関する支援を行いました。

区	日程	会場	主な内容
北	①令和6年1月17日(水) ②令和6年2月15日(木)	①北文化会館 ホール ②北区役所	①市民向けの啓発活動 ②設置候補地机上検証訓練
上京	令和6年2月22日(木)	上京区社協	設置候補地机上検証訓練
左京	①令和5年9月15日(金) ②令和5年9月22日(金)	①左京区役所 ②京都工芸繊維大学	①事前研修 ②設置候補地での設置運営訓練
中京	令和6年3月1日(金)	京都御池創生館	設置候補地現地検証訓練
東山	令和6年3月10日(日)	元月輪小学校	区総合防災訓練での啓発活動
山科	①令和5年11月5日(日) ②令和5年11月23日(木)	①音羽川小学校 ②山科中央公園	①学区防災訓練での啓発活動 ②区総合防災訓練での啓発活動
下京	①令和5年10月2日(月) ②令和5年12月10日(日) ③令和6年1月27日(土)	①京都産業大学むすびわざ館 ②下京渉成小学校 ③七条第三小学校	①設置候補地現地検証訓練 ②区総合防災訓練での啓発活動 ③防災まつりでの啓発活動
南	令和6年2月15日(木)	南区社会福祉協議会	区役所担当者と設置候補地机上検証訓練および現地確認
右京	令和5年10月11日(水)	右京ふれあい文化会館 及び太秦安井公園	設置候補地現地検証訓練
西京	令和6年2月16日(金)	西京区役所	設置候補地机上検証訓練
伏見	令和5年12月10日(日)	醍醐寺 霊宝館本館	伏見区災害ボランティアセンター設置・運営訓練及びマッチングシミュレーション訓練の実施。

(4) 災害時要配慮者支援に関する研修、訓練、情報提供等の実施

ア 災害時のボランティア活動に関する研修会の開催

京都市災害ボランティアセンター事業の一環として、市・区災害ボランティアセンタースタッフ研修会を開催しました。(内容は後述イの通り)

イ 災害時要配慮者支援活動に関する研修会の開催

普段のつながりを活かした地域づくりを目指し、災害発生時に活かすことを目的に開催しました。

開催日	内容	人数
令和6年2月10日(土)	令和5年度災害時要配慮者支援研修 多様な視点で地域の防災を考える ～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～ 講師 斉藤 容子 氏(関西国際大学 客員教授) 武山 世里子 氏(社会福祉法人ミッションからしだね) 大久保 暁 氏(暁 project 合同会社 CEO)	46名

(5) 被災地へのボランティアバスの派遣 [7(4)他都市災害ボランティアセンター等との連携に再掲]

開催日	内容	人数
令和5年8月29日(火)	令和5年台風7号の被害による被災地派遣 派遣先 綾部市災害ボランティアセンター 物部公民館(物部営農指導センター) <住所>綾部市物部町東野46番地の1	延べ 27名
令和6年3月7日(木) ～令和6年3月8日(金)	令和6年能登半島地震による被災地派遣 派遣先 七尾市災害ボランティアセンター 七尾市文化ホール <住所>石川県七尾市本府中町ヲ部38番地 共催 京都府災害ボランティアセンター	延べ 24名
令和6年3月14日(木) ～令和6年3月15日(金)	令和6年能登半島地震による被災地派遣 派遣先 七尾市災害ボランティアセンター 七尾市文化ホール <住所>石川県七尾市本府中町ヲ部38番地 共催 京都府災害ボランティアセンター	延べ 24名
令和6年3月25日(月) ～令和6年3月26日(火)	令和6年能登半島地震による被災地派遣 派遣先 七尾市災害ボランティアセンター 七尾市文化ホール <住所>石川県七尾市本府中町ヲ部38番地 共催 京都府災害ボランティアセンター	延べ 25名

7 京都市災害ボランティアセンターの共同運営

(1) 市災害ボランティアセンター諸会議の開催

会議	開催日	議題
役員会	令和5年5月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業報告(案) 令和4年度決算(案) 令和5年度京都市総合防災訓練
	令和6年2月13日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度事業計画(案)及び予算(案) 京都市災害ボランティアセンター規約及び会計処理規程の一部改正について 京都市災害ボランティアセンターの監事の選任 令和6年能登半島地震について
運営会議	第1回 令和5年4月6日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の事務局構成について 令和5年度第1回役員会に係る資料について 災害時対応における諸課題の解決に向けて
	第2回 令和5年6月16日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応における諸課題の解決に向けて 運営課題進捗状況確認について 東本願寺前市民緑地の利用方法について 令和5年度京都市総合防災訓練について

会議	開催日	議題
運営会議	第3回 令和5年8月18日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年台風7号による被害について ・被災地支援ボランティア派遣に係る基本的な考え方について ・左京区災害ボランティアセンター設置運営訓練について ・令和5年度研修について ・出張講座について
	第4回 令和5年10月20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・左京区災害ボランティアセンター設置・運用訓練について(報告) ・令和5年度区災害ボランティアセンター設置・運用訓練一覧について ・令和5年度災害ボランティア入門講座について ・令和5年度研修について ・出張講座について
	第5回 令和5年12月15日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度京都市災害ボランティアセンター研修会について ・令和5年度災害ボランティア入門講座について ・出張講座について ・令和5年度研修について ・補助金の執行状況について ・監事の再任について ・役員会について
	第6回 令和6年3月21日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業・経費の確認について ・令和5年度取組の積み残しについて ・令和6年度始め(4月、5月)の動きについて ・令和6年能登半島地震被災地への今後の支援について
	臨時 第1回 令和5年8月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年台風7号による被災地への支援について
	臨時 第2回 令和6年1月4日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年能登半島地震について
	臨時 第3回 令和6年1月12日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年能登半島地震による被害及び災害ボランティアセンターの開設状況について ・社協 近畿ブロック府県・指定都市社協連絡会議について ・社協 府災害ボラセン担当者との情報共有会議について ・先遣隊、ボランティアバスの運行について ・資金について
	臨時 第4回 令和6年1月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年能登半島地震による被害及び災害ボランティアセンターの開設状況について ・令和6年能登半島地震に伴う京都市の支援活動状況 ・社協 近畿ブロック社協の動きについて ・被災地のライフライン・道路状況について ・先遣隊、ボランティアバスの運行について
	臨時 第5回 令和6年2月7日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年能登半島地震被災地支援ボランティアバス運行について(案)
	臨時 第6回 令和6年2月22日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年能登半島地震被災地支援ボランティアバス運行について(案)

(2) 研修、訓練、情報提供等の関連事業の実施

ア 京都市総合防災訓練への参加

令和5年京都市総合防災訓練において、京都市災害ボランティアセンター及び災害ボランティア活動の広報・啓発活動を行いました。

開催日時	会場	内容	人数
令和5年10月28日(土)	京都市勧業館 みやこめっせ	(1) 災害ボランティアの取組風景 のパネル展示 (2) 災害ボランティアに関する 動画上映 (3) 運営サポーター制度の啓発 (4) 備蓄用食料品などの配布	615 名

イ 市・区災害ボランティアセンター関係機関職員の訓練機会の提供

(ア) 市・区災害ボランティアセンター新任関係職員への研修の実施

開催日	内容	人数
令和5年11月16日(木)	令和5年度京都市災害ボランティアセンター研修会 市区災害ボランティアセンター担当者新任研修 講師 椿原 恵 氏(倉敷市社会福祉協議会) 京都市災害VC構成団体職員(村重・尾嶋・真鍋) ファシリテーター 李 仁鉄 氏 (にいがた災害ボランティアネットワーク)	38名

(イ) 市・区災害ボランティアセンター関係職員を対象とする合同研修等の実施

開催日	内容	人数
令和5年11月16日(木)	令和5年度京都市災害ボランティアセンター研修会 市区災害ボランティアセンター担当合同研修 講師 田中 雄基 氏(静岡市役所) 北島 啓詞 氏(静岡市社会福祉協議会) ファシリテーター 李 仁鉄 氏 (にいがた災害ボランティアネットワーク)	50名

ウ 災害ボランティア講座の開催

(ア) 出張型災害ボランティア講座

東稜高校キャリアコース・ライフマネジメントクラスに在籍する2年生の生徒を対象に、災害ボランティア講座に取り組みました。

開催日	内容	人数
令和5年4月27日(木)	内容 講義 被災地に寄り添う災害ボランティアセンター ～これまでの被災地支援活動から～ ワークショップ クロスロード～市民編～ 講師 京都市災害ボランティアセンター スタッフ 場所 東稜高校	39名

佛教大学を通じて、佛教大学の学生の方を対象に、災害ボランティア講座に取り組みました。

開催日	内容	人数
令和5年7月20日(木)	内容 講義 防災とボランティア ワークショップ クロスロード 講師 京都市災害ボランティアセンタースタッフ 場所 佛教大学紫野キャンパス	10名

「Let's ボランティア! ボランティア入門講座」の一環として、広く市民に対して災害ボランティア講座に取り組みました。

開催日	内容	人数
令和5年9月26日(火)	内容 講義 Let's ボランティア! ボランティア入門講座 講師 京都市災害ボランティアセンタースタッフ 場所 ひと・まち交流館 京都 第4・5会議室	7名

京都産業大学を通じて、京都産業大学の学生の方を対象に、災害ボランティア講座に取り組みました。

開催日	内容	人数
令和5年12月6日(水)	内容 講義 防災とボランティア ワークショップ クロスロード 講師 京都市災害ボランティアセンタースタッフ 場所 京都産業大学ナレッジcommons	15名

立命館大学を通じて、立命館大学の学生の方を対象に、災害ボランティア講座に取り組みました。

開催日	内容	人数
令和5年12月12日(火)	内容 講義 防災とボランティア ワークショップ クロスロード 講師 京都市災害ボランティアセンタースタッフ 場所 立命館大学 衣笠キャンパス 存心館	25名

京都生活協同組合くらしの助け合いの会を通じて、京都生活協同組合員の方を対象に、災害ボランティア講座に取り組みました。

開催日	内容	人数
令和6年3月4日(月)	内容 講義 防災とボランティア ワークショップ クロスロード 講師 京都市災害ボランティアセンタースタッフ 場所 コーブ御所南	18名

(イ) 災害ボランティア入門講座 [6(1)災害ボランティア講座の再掲]

災害時に活動する人材(災害ボランティアセンターサポーター)の育成のため、関心のある市民や大学ボランティアセンター等と連携し、講座をオンラインで開催しました。

開催日	内容	人数
令和5年11月3日(土)	令和5年度災害ボランティア入門講座 講師 一般社団法人ピースボート災害支援センター 関根 正孝 氏 京都市災害ボランティアセンター構成団体 内容 ①自分の身を守るためには… ②災害の種類と防災・減災の基礎知識 ③災害ボランティア活動の種類と心構え ④京都市災害ボランティアセンターの概要説明	28名

(ウ) 災害時要配慮者支援活動に関する研修会の開催 [6(4)イの再掲]

障がいなどのある方への配慮のきっかけづくりを考え、普段のつながりを活かした地域づくりを目指し、災害発生時に活かすことを目的に開催しました。

開催日	内容	人数
令和6年2月10日(土)	令和5年度災害時要配慮者支援研修 多様な視点で地域の防災を考える ～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～ 講師 斉藤 容子 氏(関西国際大学 客員教授) 武山 世里子 氏(社会福祉法人ミッションからしだね) 大久保 暁 氏(暁 project 合同会社 CEO)	46名

(エ) 近畿ブロック社協災害支援者研修への職員派遣
和歌山県での水害のため中止

(3) 市・区災害ボランティアセンターの環境整備

ア 区災害ボランティアセンターが実施する独自訓練・研修等の支援

区災害ボランティアセンターの運営体制整備のため助成事業を実施し、区災害ボランティアセンターの支援を行いました。

行政区	内容
左京区	開催日 令和5年9月22日(金) 区民啓発 区災害ボランティアセンター備品整備および運営訓練 目的 前年度確定した設置図と動線図を基に、会場である京都工芸繊維大学の学生、区社協と繋がりのある企業に呼び掛け、運営訓練を実施し、設置図及び動線図、運営マニュアルに沿った運営での課題を明らかにする。 内容 ①資器材必要数の検討と入手方法の確認 ②昨年度作成の設置図を基に設置訓練 ③現行マニュアルと昨年度作成した動線図を基に運営訓練
下京区	開催日 ①令和6年1月27日(土) ②令和6年2月24日(土) 区民啓発 ①親子防災講座 ②社会福祉事業部交流会～まなぼうさい～の開催 目的 ①親子でお菓子ポシェットを作成し、その際に防災および災害ボランティアセンターの情報を発信することで、災害への備えを啓発する。 ②団体同士の顔の見える関係づくりを目的に交流会を実施する。 内容 ①防災お菓子ポシェットの作成および普及・啓発 ②ポリ袋クッキングや交流
中京区	開催日 令和6年3月16日(土) 区民啓発 親子で学ぶ災害への備え 目的 予期できない地震や、水害に備え、小学生ができる防災、災害対策を親子で学ぶことにより、地域や家庭での防災意識を高め、自助・共助について学ぶ機会とする 内容 防災士を招いて、防災に関する講義と講義内容に関わる実技

イ 備品整備

市災害ボランティアセンター所有の無線機のアナログ周波数が令和6年(2024年)11月30日で使用できなくなるため、一部の無線機をデジタル周波数のものに入替しました。

<物品内訳>

購入資機材	数量
デジタル対応の簡易無線機固定型	9台
デジタル対応の簡易無線機携帯型	2台

(4) 他都市災害ボランティアセンター等との連携 [6(5)被災地へのボランティアバスの派遣の再掲]

開催日	内容	人数
令和5年8月29日(火)	令和5年台風7号の被害による被災地派遣 派遣先 綾部市災害ボランティアセンター 物部公民館(物部営農指導センター) <住所>綾部市物部町東野46番地の1	延べ 27名
令和6年3月7日(木) ～令和6年3月8日(金)	令和6年能登半島地震による被災地派遣 派遣先 七尾市災害ボランティアセンター 七尾市文化ホール <住所>石川県七尾市本府中町ヲ部38番地 共催 京都府災害ボランティアセンター	延べ 24名
令和6年3月14日(木) ～令和6年3月15日(金)	令和6年能登半島地震による被災地派遣 派遣先 七尾市災害ボランティアセンター 七尾市文化ホール <住所>石川県七尾市本府中町ヲ部38番地 共催 京都府災害ボランティアセンター	延べ 24名
令和6年3月25日(月) ～令和6年3月26日(火)	令和6年能登半島地震による被災地派遣 派遣先 七尾市災害ボランティアセンター 七尾市文化ホール <住所>石川県七尾市本府中町ヲ部38番地 共催 京都府災害ボランティアセンター	延べ 25名

8 協働・連携・ネットワーク

(1) 「kyoto ころつながるプロジェクト」の開催 [市社協各部・企業・当事者団体との協働]

すべての人が、つながり支え合い、多様な価値観を認め合う社会を目指して、市区社協総体で「kyoto ころつながるプロジェクト」を開催しました。

ア 市区社協・事業所を含めた取組(通年)

- ・イベント・研修等 14 団体、38 件、のべ 4,498 人
- ・情報発信 11 団体、13 件
- ・その他 1 件

イ 強化期間の取組

部署	事業名	開催日・会場	協働	実績
地域支援部	シンポジウム 社会福祉施設との協働で ひろがるまちづくり～人と地 域をつなぐ地域公益取組～	令和5年 10月27日 (金) キャンパスプ ラザ京都	京都市社会福祉施設連絡協 議会、京都市地域包括支援 センター・在宅介護支援セン ター連絡協議会、各区社協、 各区地域福祉推進委員会	79名
生活参加支援部	ころつながれ ～わたしのお気に入り、私 の日常、ワタシの気持ち～ ①作品展示 令和5年11月7日(火)～ 11月17日(金) ②ワークショップ 令和5年11月9日(木)	ひと・まち交 流館 京都 1階 作品展 示コーナー	・京都市長寿すこやかセ ンター	①出展 49名・103 点、 来場 387名 ②出展 12名 来場 145名

ウ ボランティア支援部の主管事業

テーマ	内容	人数
つながるフェス	<p>開催日 令和5年12月2日(土)</p> <p>会場 ゼスト御池 河原町広場、QUESTION(京都信用金庫)</p> <p>内容 当事者団体や支援団体によるワークショップ、福祉事業所等によるパンなどの販売</p> <p>参画団体 公益財団法人京都市ユースサービス協会、京都民事調停協会、京都人権擁護委員協議会、社会福祉法人京都府共同募金会、京安心すまいセンター、東山区「不登校・ひきこもりを考える親の会」「シオンの家」、NPO 法人お客様がいらっしゃいました.、アソボロジー、京都市災害ボランティアセンター、認知症啓発プロジェクト(京都市長寿すこやかセンター、京都市福祉ボランティアセンター)、参加支援部、「思いを聴く」福祉ボランティアセンター</p> <p>レモネードスタンドPhilia、ワークセンターHalle! 飛鳥井ワークセンター、社会福祉法人京都ワークハウスまんまん堂、みやこ西院作業所、合同会社就労サポートきらあすなろドーナツ、京都市うずまさ学園、さくさく工房、イサク事業所 どうほうの家 Café Rigoletto</p>	<p>1,324名 (内、ゼスト御池 978名 / QUESTION 346名)</p>

(2) 大学及び大学ボランティアセンターとの連携

「大学のまち京都 災害ボランティアに係るパートナーシップ宣言」参加の5大学と、災害ボランティア活動をはじめ、被災地視点活動について情報交換を行いました。

【5大学】 京都産業大学、同志社大学、佛教大学、立命館大学、龍谷大学

ア パートナーシップ宣言大学会議

開催日	議題
令和6年2月27日(火) オンライン	<p>1 令和6年能登半島地震への支援について</p> <p>2 情報交換</p>

イ ボランティアイベントへの出展

大学ボランティアセンター等の主催するボランティアイベントに出展し、大学生にボランティア活動への参加呼びかけや活動紹介を行いました。

開催日	イベント	大学
令和5年5月26日(金)	ボランティアフェスタ2023	京都産業大学
令和5年10月12日(木)	2023年度ボランティアフェスティバル	佛教大学

(3) 企業・団体等の社会貢献活動との連携

ア 株式会社セブン-イレブン・ジャパンとの商品寄贈の活用

株式会社セブン-イレブン・ジャパン及び京都市との「商品寄贈による社会福祉貢献活動連携協定」に基づき、企業の社会貢献活動の一環として株式会社セブン-イレブン・ジャパン所有の商品の寄贈を受けました。

寄贈商品は、センター及び各区社会福祉協議会を通じて、子ども食堂をはじめ、居場所づくり活動を行うボランティア団体や障がい者福祉施設、生活困窮者支援施設など様々な活動団体等に配分しました。

商品寄贈一覧表

配送日	寄贈店舗(所在地)	配送数
令和5年6月22日(木)	1店舗(中京区)	食品 20 雑貨 18
令和5年7月7日(金)	1店舗(山科区)	食品 50 雑貨 32
令和5年9月1日(金)	1店舗(伏見区)	食品 1 雑貨 7
令和6年1月23日(火)	1店舗(西京区)	食品 19 雑貨 40
令和6年2月1日(木)	1店舗(山科区)	食品 5 雑貨 14
令和6年2月20日(火)	1店舗(伏見区)	食品 6 雑貨 37
令和6年2月29日(木)	1店舗(木津川市)	食品 6 雑貨 14
令和6年3月29日(金)	1店舗(南区)	食品 1 雑貨 4
計	8店舗	食品 108 雑貨 166

イ 社会貢献活動(CSR)推進のための調整・講師派遣等

企業等からの依頼にもとづき活動紹介、マッチング、講師派遣等を行いました。

(イ) 子育て家庭への食品配送見守り事業「きょうとこどもみらい笑顔便」

ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区及び京都市との「子育て家庭への食品配送・見守り活動等に関する協定」に基づき、近年、子どもの貧困や孤立を背景に、市内の子どもの育ちをサポートする「子ども食堂」や「学習支援」といった子どもの居場所までにとどり着いていない、自ら「助けて」の声を上げられない子どもや家庭に対し、食品等の配送を通し、利用家庭の生活を支えながらつながりを生み出し、必要な支援につなぐための手段となることを目指し取り組みました。

	梱包作業	配送日	利用世帯数
第11回	令和5年8月22日(火)	令和5年8月22日(火)～8月24日(木)	61世帯
第12回	令和5年12月20日(水)	令和5年12月20日(水)～12月22日(金)、12月28日(木)	69世帯
第13回	令和6年3月14日(木)	令和6年3月14日(木)～3月15日(金)	28世帯
第14回	令和6年3月23日(土)	令和6年3月25日(月)～3月27日(水)	71世帯

(4) 福祉ボランティア関係団体等との連携・協力

ア パソコンボランティアグループ連絡会「パソコンボランティアネットワークきょうと」

情報・IT 機器を使用したボランティアグループによる連絡会を、情報交換、共同事業など相互の活動充実のため、本センターとして支援しました。

【連絡会開催数】2回

- ・令和5年7月6日(木) 6名
- ・令和6年3月8日(金) 7名

イ 関係団体との連携によるイベント・講座などの開催

	団体名	事業名	開催数	参加人数
共催	NPO 法人お客様がいらっしゃいました.	無償配布会 生理用品お渡しします!	4回	延べ50名
協力	京都小さな生命を考える懇談会	第31回記念いのちの講演会 授かるいのち未来へつなごう! 赤ちゃんが咲くう京都へ	1回	300名

	団体名	事業名	開催数	参加人数
共催	花パソ	マンツーマンで教わる! シニアのスマホ解決講座	1回	12名
後援	共に生きる会	『凱歌』から人の尊厳を考える	1回	不明
後援	京都 PANA-ALC	傾聴後援会	1回	22名

(5) 障がい者団体との連携・協力

ア ほほえみ広場 2023 への協力

実行委員会構成団体として運営をサポートしました。ボランティアコーディネートを行い、YouTube 動画でボランティア講座を受講したボランティア 17 名が活動しました。

イ 天皇盃 第 35 回全国車いす駅伝競走大会への協力

構成団体として運営をサポートしました。7 名の市・区社協職員がコーディネートを行い、スタート地点及び各中継所で 19 名のボランティアが活動しました。

(6) 京都ボランティア協会との連携

ア ボランティア活動に関わる相談・コーディネートにおける連携・協働

(7) 京都市長寿すこやかセンターとの連携

広報企画プロジェクトを開催し、若年性認知症当事者・大学生を中心とした 30 歳までの方とのボランティア活動支援を行いました。

広報には公益財団法人京都市ユースサービス協会の協力を得ました。

(8) 京都市市民活動総合センターとの連携

助成金活用セミナーを開催し、ボランティア・市民活動団体の活動支援を行いました。

(9) 京都市市民活動総合センター・京都市青少年活動センターとの連携

分野別センター合同ケース検討会を開催し、中間支援組織の職員の育成・つながりづくりを行いました。

(10) 京都 SKY センターとの連携

京都 SKY センターが主催するボランティアイベントに出展し、高齢者にボランティア活動への参加呼びかけや活動紹介を行いました。

開催日	イベント
令和 6 年 2 月 10 日(土)	第 4 回SKYボランティア活動見本市

9 相談・コーディネート

(1) ボランティア活動に関する相談(来所、電話、Eメール等)・コーディネート

一般市民やボランティアグループ・団体、企業等の相談に対し、ボランティア及びその関連情報の提供や紹介、コーディネートを行いました。

【年間相談件数】 828 件

<内訳>

相談者属性 別			
一般市民	339	行政	39
VG・NPO	185	企業・団体	26
福祉施設	60	地域団体・役員	0

相談分野 別	
高齢者	152
障がい者・児	129
児童・青少年	118

相談内容 別	
Vしたい	175
Vしてほしい	87
V情報発信	56

相談者属性 別			
関係機関	38	学区社協	5
学校	15	老人クラブ	1
医療	1	その他	6
社協	109	不明	0
マスコミ	4		

相談分野 別	
その他の福祉	264
医療・保健	3
災害	50
国際	6
環境	4
その他	53
不明	0

相談内容 別	
V助成	51
V保険	88
V講座・研修	57
V施設・設備	72
Vその他	112
子どもの居場所	2
物資の提供	38
不明	89

10 活動促進・サポート

(1) センター施設・設備・備品の貸出

センター開所日数	347 日	来所者・入場者数	延べ 68,304 人
一日平均利用者数	197.1 名	利用登録団体数	808 団体
ミーティング室利用	延べ 934 回	録音室利用	延べ 110 回
印刷機材利用	延べ 1,552 回	パソコン利用	延べ 147 回
その他備品	延べ 218 回		

(2) 福祉の保険(ボランティア保険、行事保険等)の紹介・取次ぎ

ボランティア活動者に対するサポートとして、福祉の保険(ボランティア保険・行事保険等)の紹介・取次ぎを行いました。

【ボランティア保険加入者】31,859 名 【福祉行事保険加入者】144,902 名

【加入者による事故】73 件

(3) 助成に関する支援

各種助成情報を収集し、ホームページやメールマガジン等で積極的に情報提供しました。

また、団体・グループからの助成制度に関する個別相談にも、制度紹介や推薦などコーディネートを行いました。

【推薦団体数】7 団体 【助成交付団体】6 団体

【公募・推薦(令和 5 年度助成決定一覧)】

助成団体名、または基金名	推薦 件数	決定 件数	決定額
一般財団法人チャイルドライフサポートとくしま 子どもの笑顔はぐくみプログラム	1	1	364, 000 円
公益財団法人大阪ガスグループ福祉財団 令和 5 年度「高齢者福祉助成」	1	1	147, 000 円
三井住友信託銀行株式会社 公益信託 京都ライオンズクラブ地域社会奉仕活 動助成基金	2	1	100, 000 円
一般社団法人親切会 関西支部 寄付金	3	3	各 40, 000 円

(4) 表彰に関する支援

各種表彰・顕彰等に対する推薦

ア ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰及び感謝状への候補者推薦

＜厚生労働大臣表彰受賞者＞ 花水木の会

＜厚生労働大臣感謝状受賞者＞ F.F.toF、鴨川みそそぎ会

イ 京都市長表彰(社会福祉事業協助者関係)への候補者推薦

＜京都市長表彰受賞者＞ 【個人】42名／【団体】8団体

ウ 京都市社協会長表彰(社会福祉事業奉仕活動表彰)への候補者推薦

＜京都市社協会長表彰受賞者＞ 【団体】1団体

エ 社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団 第49回産経市民の社会福祉賞への候補者推薦

＜選外＞

オ 社会福祉法人読売光と愛の事業団 第21回読売福祉文化賞への候補者推薦

＜選外＞

カ 公益財団法人社会貢献福祉財団 第59回社会貢献者表彰への推薦

＜選外＞

キ 公益財団法人京都新聞社会福祉事業団 令和5(2023)年度京都新聞福祉賞への推薦

＜選外＞

ク 公益財団法人京都新聞社会福祉事業団 令和5(2023)年度京都新聞福祉奨励賞への推薦

＜選外＞

(5) 広報・情報発信に関する支援

インターネット環境が整っていないボランティアグループなどに対し、FAX等で申し込みを受け付け、イベントや研修情報、ボランティア募集などの情報発信を支援しました。

【情報発信件数】497件

11 調査・研究

(1) 利用登録団体のセンター利用実態調査による活動動向の把握

利用登録団体を対象にセンターの利用頻度や目的、設備や備品についてのアンケートを実施し、利用者のニーズ把握に努めました。

【送付数】382団体 【回答数】198団体 [1(2)利用登録団体の管理の再掲]

12 その他

(1) 福祉の保険(ボランティア保険、行事保険等)の取扱いと加入の促進

ア 保険会社との契約締結・データ集積等運用事務

ボランティア活動時の事故補償に関わる支援として、福祉の保険を運用しました。

(2) 民間助成団体・福祉財団の助成事業申請に関わる連絡調整及び推薦

ア 市・区社会福祉協議会が推薦者となる助成事業の公募・推薦

大阪ガス福祉財団「高齢者福祉助成」推薦事務を、区社協との連携のもと実施しました。

【申請総数】4団体(4事業) 【助成交付団体】4団体(4事業)

(3) 社会福祉・ボランティアに関連する現場実習等への支援

ア 大学・関係団体との調整による社会福祉援助技術現場実習等の受入

(4) 共同募金配事業の調整・事務

ア kyoto ころつながらるプロジェクトの開催

イ 障がい者団体(9 団体)への活動助成
ウ 地域福祉情報発信事業
(ア) 広報誌「福祉のまちづくり」の発行



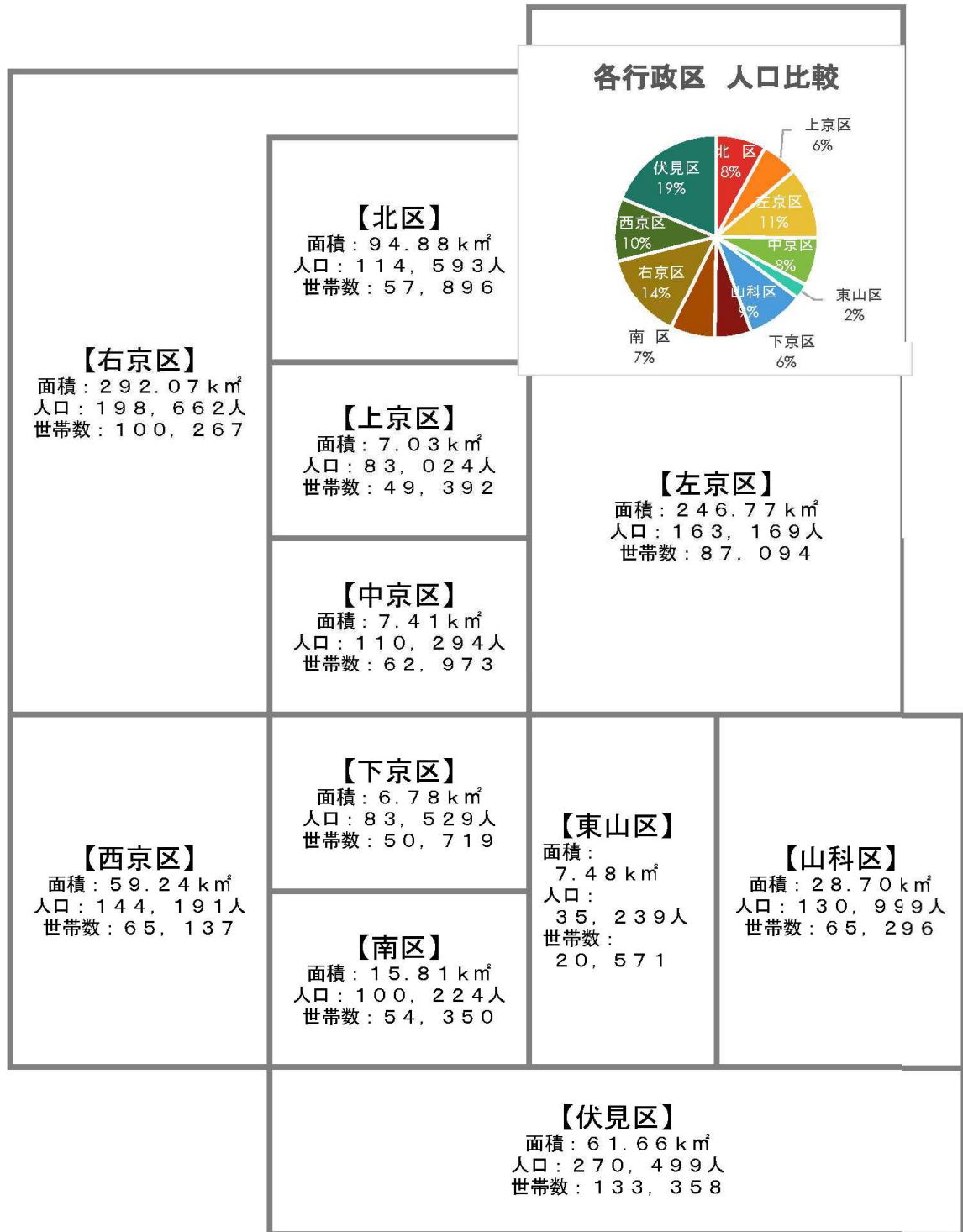
kyoto こころつながるプロジェクト
つながるフェス



きょうと「こどもみらい笑顔便」

Ⅱ 各区ボランティアセンターの活動状況

各区の概要（令和6(2024)年4月1日現在） 京都市統計ポータル「住民基本台帳人口」より引用



1 区ボランティアセンター運営事業実施要綱

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

(趣旨)

第1条 本要綱は、京都市「区ボランティアセンター運営事業」を市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）が実施するにあたり必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 本事業は、ボランティア活動に参加したい人が誰でも参加できるよう地域住民のニーズを積極的に開拓するとともに、活動に当たって必要な援助を行うことにより、いつでも、どこでも、誰でも、ボランティア活動に参加できる体制の整備に努めることを目的とする。

(開所)

第3条 区ボランティアセンターの開所日及び開所時間は、毎週月曜日から金曜日の午前9時から午後5時とし、土曜日、日曜日、祝日、12月29日から31日及び1月1日から3日は閉所する。

(実施事業)

第4条 本事業は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) ネットワーキング事業

区域の中間支援センターとして、多様なボランティア・市民活動団体等との協議や交流の場を設け、地域別や課題別、分野別などのネットワークを形成すること

(2) 情報の収集・啓発事業

ボランティア活動に関する各種情報を収集し、広報物やインターネット等を活用して、広く地域住民やボランティア活動者に提供すること

(3) 人材育成・活動参画促進事業

ボランティア活動に関心のある市民や活動者に対し、各種講座の開催や体験学習の場、活動への参加機会を提供し、理解の深まりと活動参画者の裾野拡大を促進すること

(4) 相談・コーディネート事業

ボランティア活動に関する相談に対応するとともに、多様な個人や団体、社会的課題やニーズ等を結ぶコーディネートを行うこと

(5) 活動振興援助事業

活動資金確保のための民間助成財団等の活用サポート、ミーティングスペースや各種資機材の貸出し、活動中の事故に備えたボランティア保険の取次ぎ等、日常の円滑な運営や活動・事業をサポートすること

(6) 災害対策のための環境整備事業

災害時、被災者に対する支援ボランティア活動が円滑に行われるよう、平常時から関係機関・団体等との連携を強化し、人材育成、啓発、ネットワークづくり、マニュアル整備などの環境整備を推進すること

(実施方法)

第5条 前条に定める実施事業については、各区社会福祉協議会（以下「各区社協」）へ委託して実施するものとする。

2 市社協は、各区ボランティアセンター事業への相談、援助、指導を行うものとする。

（委託料）

第6条 前条に規定する事業を行うために必要な経費として、市社協は各区社協に委託料を支払う。

2 本事業の委託料は、上限を213万円とする。

積算は、人件費として113万円、事業費として100万円とする。

3 委託料を受けた区社協が、次の各号のいずれかに該当するときは、市社協は区社協に対して委託料の全部又は一部の返還を求めることができる。

（1）この要綱の規定又は委託契約書の事項に違反したとき

（2）その他、市社協が特に不相当と認めたとき

（計画・報告）

第7条 各区社協は、事業年度開始時に区ボランティアセンター事業に関する事業計画を、ならびに事業年度終了後に事業実施報告書を、それぞれ別に定めるところにより市社協に提出するものとする。

（その他）

第8条 この要綱に定めるもののほか、区ボランティアセンター運営事業に関して必要な事項は別に定める。

附 則

（施行期日）

この要綱は、平成23年4月1日から実施する。

2 各区ボランティアセンターの活動状況

令和5年度 北区ボランティアセンター事業 実施報告書

京都市北区社会福祉協議会

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有 【貸出し件数】70件 【延べ利用人数】622名(※共有の場合はVGのみをカウント)
	機材の貸し出し
	【貸出し件数】396件(うち、印刷機器318件、その他機材78件) 【貸出し物品】(車椅子、液晶プロジェクター、スクリーン、アンプ付ワイヤレスマイク、DVDデッキ)
	ボランティア保険の加入促進
	【区内のボランティア保険加入者】143団体2,404名 【行事保険】149件11,247名
	活動への助言、指導、支援など 随時実施
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア広報紙の発行
	北区ボランティア広報誌 【回数】年1回発行(3月) 【発行部数】5,000部
	その他広報物、報告書類等の発行
	【その他広報物】各種講座チラシ、市民しんぶん区民版「こころ+たす」による情報発信、包括との連携により災害への備えシート作成
	インターネットによる情報発信 【ホームページ・SNSの開設】あり
3. 災害対策のための環境整備事業	人材育成、啓発、ネットワーク
	-
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	(1)北区総合防災訓練 【日時】令和5年10月29日(日)9:00~12:00 【参画内容】防災会議への参加及び訓練見学 【参加者層】防災関係団体、地域関係団体、終野学区住民等
	(2)令和5年度災害時要配慮者支援研修「多様な視点で地域の防災を考える～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～」 ※主催:京都市災害ボランティアセンター、京都市男女共同参画センターウイングス京都、京都市福祉ボランティアセンター 共催:区ボランティアセンター 【日時】令和6年2月10日(土)13:30~16:00 【参加者数】46名 【内容】災害時に要配慮者が抱える複合的な困難に対して、我々ができること、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備
	(1)北区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】令和5年12月26日(火)13:00~14:00、令和6年2月15日(木)13:30~15:00 【場所】北区役所 【参加者層・数】5名(北区役所総務防災担当2名、北区社協職員3名) 【内容】区災害ボランティアセンターの立ち上げや、ボランティア受入れ対応について申し合わせを行った。 (2)福祉避難所設置運営訓練 【日時】令和5年12月26日(火)14:00~16:00 【場所】北区役所 【参加者層・数】28名(区役所地域力推進室担当者、保健福祉センター・健康長寿推進課・生活福祉課・障害保健福祉課職員、子どもはぐくみ室長、高齢・障害施設職員、北区社協職員) 【内容】福祉避難所の運用に向け、関係機関との連携・対応について模擬訓練を行った。 (3)区民協高齢福祉部会と老人福祉員との合同研修 【日時】令和6年1月17日(水)10:00~11:30 【場所】北文化会館 【参加者層・数】約200名(北区民生児童委員等) 【内容】高齢化率30%を超える状況下での地域防災の推進について研修を受けた。
4. その他	実施体制
	職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月~金9:00~17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応

1 相談・コーディネート事業	相談対応内容	
	【件数】231件 【主な相談内容】 (1)ボランティアしたい/してほしい (2)ボランティア保険について (3)子どもの居場所づくりについてなど	
	コーディネートを伴う事業 -	
4.その他/2 調査及び研究	ボランティアの把握 合計3,605名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)	
	調査・研究活動 -	
4.その他/3 講座・研修等の開催	講座・研修等の開催 (1)点字教室 【日時】令和6年2月3日(土)10:00~11:30、2月10日(土)10:00~11:30、2月17日(土)10:00~11:30 【開催回数】3回 【参加者】延べ33名 【内容】視覚障がい者による講演と点字体験 (2)ボランティア入門講座「学生さんに聞こう! スマホの使い方」 【日時】令和5年5月25日(木)13:30~・14:30~、令和6年2月24日(土)10:00~・11:00~ 【開催回数】4回 【参加者】延べ28名 【内容】スマホの使い方を教える活動の実践とフィードバック (3)小学校における福祉教育プログラム 【期間】通年(計14日) 【参加者層】4年生:4校延べ240名、5年生:2校延べ131名 【実施校】上賀茂小学校、待鳳小学校、鳳徳小学校、紫竹小学校、紫明小学校、大宮小学校 【実施協力団体】学区社協、学区民協、京都市北区視覚障害者協会、京都市聴覚障害者協会、NPO法人ALIZE、京都ライトハウス 【内容】聴覚障がい、視覚障がい、身体障がい、高齢(認知症)、地域福祉の5つの理解がすすむ体験プログラムを用意し、学校からの申請に基づき実施するもの。	
	4.その他/4 活動者相互の交流の促進	区ボランティアセンター運営委員会 理事会・評議員会 【開催回数】3回 【構成団体数】52名 【構成団体名】学区社協・社会福祉事業施設・区民協・社会福祉事業団体・社会福祉関係団体・学識関係者・社会福祉関係公務員 【議事内容】 (1)令和5年度事業報告並びに決算報告 (2)令和6年度事業計画並びに予算
		ボランティアグループ連絡会 -



鳳徳小学校福祉教育

1. 活動振興・援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	-
	機材の貸し出し	【貸出し件数】164件(うち、印刷機器87件、その他機材77件) 【貸出し物品】車椅子、プロジェクター、スクリーン、紙折り機、ペーパーカッター、丁合機、高齢者疑似体験グッズ等
	ボランティア保険の加入促進	【区内のボランティア保険加入者】90団体1,478名 【行事保険】85件9,349名
	活動への助言、指導、支援など	学区社協相談会開催 子ども食堂立ち上げ支援、ボランティアグループ・市民活動団体の運営の助言など
	ボランティア広報紙の発行	(1)上京区社協だより 【回数】年1回発行(11月) 【発行部数】27,000部 (2)区社協ニュース 【回数】年1回発行(11月) 【発行部数】27,000部
2. 情報の収集・啓発事業	その他広報物、報告書類等の発行	市民しんぶん上京区版での「区社協通信」記事掲載(毎月15日発行) 正親学区広報紙「正親だより」への寄稿を通じた情報発信
	インターネットによる情報発信	【ホームページ・SNSの開設】あり随時更新 【その他】 (1)Facebook、Instagramによる情報発信 (2)情報コーナーによる発信
	人材育成、啓発、ネットワーク	(1)区防災会議への参画 (2)自主防災協議会本部会議への参加 (3)正親学区児童防災学習への協力 【日時】令和5年11月15日(水)13:55～15:00 【参加者】児童30名、保護者数名、正親学区役員、区役所職員 【内容】高齢者疑似体験セットを貸出して、装着の仕方や高齢者の身体について説明した。 (4)中立法学区防災訓練への協力 【日時】令和5年10月21日(土)8:30～12:00 【参加者】地域住民100名程度、中立法学区役員、区役所職員 【内容】車椅子の貸出を行い、車椅子の使い方についてレクチャーをした。
3. 災害対策のための環境整備事業	災害時の要配慮者支援研修・訓練	令和5年度災害時要配慮者支援研修「多様な視点で地域の防災を考える～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～」 ※主催:京都市災害ボランティアセンター、京都市男女共同参画センターウイングス京都、京都市福祉ボランティアセンター 共催:区ボランティアセンター 【日時】令和6年2月10日(土)13:30～16:00 【参加者数】46名 【内容】災害時に要配慮者が抱える複合的な困難に対して、我々ができること、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備	区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】令和6年2月22日(木)10:00～11:00 【場所】上京区社会福祉協議会ミーティングスペース 【参加者層・数】区役所職員2名、区社協職員2名 【内容】災害ボランティアセンター設置マニュアルの詳細や具体的な動きについて確認を行い、災害ボランティアセンターのイメージを具体化するとともに、平時から区社協で準備しておく必要があること、区役所へ確認が必要なことをそれぞれ洗い出し、今後の検討課題とすることを目的に机上訓練を実施。

4. その他／1 相談コーディネーター事業	実施体制	職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月～金 9:00～17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応
	相談対応内容	【件数】376件 【主な相談内容】ボランティアの紹介、地域活動、備品貸出等
	コーディネートを伴う事業	【事業名】知恵シルバーセンター事業の運営 【件数】1件 【延べ人員】8名 【主なコーディネート内容】相談者への対応
	ボランティアの把握	合計1,478名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)
調査及び研究	4. その他／2 調査・研究活動	上京区子どもの居場所紹介ページの更新 【成果物】 (1)「子どもの居場所紹介ページ」を区社協ホームページ内に開設 (2)上京ふくしまップの作成、編集、公開
	4. その他／3 座・研修等の開催	講座・研修等の開催 手話講座 【日時】令和6年2月10日(土)、令和6年2月17日(土) 【開催回数】2回 【参加者】延べ40名(各日22名、18名) 【内容】京都市聴覚障害者協会 上京支部・京都市手話学習会「みみずく」との共催で、区民向けの手話講座を開催。
4. 活動者相互の交流の促進	4. その他／ 区ボランティアセンター運営委員会	理事会・評議員会 【開催回数】5回 【構成団体数】60団体 【構成団体名】区内学区社協、社会福祉施設、各種団体等 【議事内容】ボランティアセンターの振興について
	ボランティアグループ連絡会	上京こども応援団(上京区子どもの居場所情報交換会) 【開催回数】1回 【加入団体数】25団体 【加入団体名】区内子どもの居場所、幼稚園・保育園・小中学校、関係機関など 【主な議題】 (1)ネットワークづくりについて (2)各居場所の活動について情報交換



手話講座

令和5年度左京区ボランティアセンター事業実施報告書

京都市左京区社会福祉協議会

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し 【ルーム(ビューロー)の状況】 専有・共有 【貸出し件数】102 件 【延べ利用人数】2,297 名(※共有の場合はVGのみをカウント)
	機材の貸し出し 【貸出し件数】142 件(うち、印刷機器 52 件、その他機材 90 件) 【貸出し物品】車椅子、プロジェクター、スクリーン、延長コード、ワイヤレスアンプ、マイク、点字器、アイマスク、缶バッジ製造機
	ボランティア保険の加入促進 【区内のボランティア保険加入者】121 団体 1,821 名 【行事保険】370 件 8,181 名
	活動への助言、指導、支援など (1)助成金情報の提供、地域住民から寄付物品について寄付先(団体・施設)の紹介 (2)健康すこやか学級への講師派遣 (3)学区の研修会の 相談・講師コーディネート (4)子ども食堂運営者間の連携サポート (5)地域から子ども食堂への寄付の相談支援 (6)ボランティア相談者の学区社協・団体・施設へのコーディネート (7)子ども食堂の立ち上げ相談 (8)学習支援ボランティア希望者への見学サポート
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア広報紙の発行 さきょうくしゃきょうだより第 49 号 【回数】年 1 回発行(1 月) 【発行部数】59,400 部
	その他広報物、報告書類等の発行 (1)令和5年度左京区ボランティアセンターボランティアグループ連絡会からお知らせ(ボランティア募集チラシ) (2)令和5年度左京区地域の活動場所 MAP(ボランティアグループ連絡会、居場所活動、学区社協主催の居場所の一覧)
	インターネットによる情報発信 【ホームページ・SNS の開設】 あり・なし
3. 災害対策のための環境整備事業	人材育成、啓発、ネットワーク 社会福祉士実習生に対してボランティアグループを紹介し、アンケート調査・卒論作成のサポート、ボランティア団体と自主防災会との連携サポート、ボランティア団体と児童館との連携サポート
	災害時の要配慮者支援研修・訓練 (1)左京区防災関連事業等に係る説明会 【日時】令和5年5月12日(金)10:00～12:00 【参加者層・数】自主防災会 100 名 【主な内容】 ア.危険木材伐採支援事業について イ.避難行動要支援者に係る「個別避難計画作成推進事業」について ウ.妊産婦等福祉避難所について エ.ベットの防災推進事業について オ.京都市第4次地震被害想定について カ.災害ボランティアセンターについて キ.令和5年度左京区消防団総合査閲及び機構改革に伴う担当者の変更について ク.令和5年度防災関連事業の日程について ケ.次期非常通信設備(MCA アドバイス、衛星携帯電話)について コ.避難所運営マニュアル空調設備のある部屋等の活用編について (2)岩倉北学区総合防災訓練 【日時】令和5年6月18日(日)9:00～12:00 【参加者層】自主防災会、学区社協、自治連合会、左京区役所防災担当、岩倉北小学校、岩倉北包括、消防署、消防団、女性会等 (岩倉北学区災害対策本部、避難所運営協議会のメンバー) 【参加者数】約 137 名 【主な内容】 ア.避難指示発令、防災部長へ連絡 イ.要援護者登録者の安否確認 ウ.避難所へ避難開始 エ.避難所へ入所(入所カードの記載) オ.区役所防災担当と消防から2グループに分かれて講義 区役所:テントや段ボールベッド、簡易テントの設置説明・体験、マンホールトイレの解説、質疑応答防災講話 左京消防署:防災クロスワード、通電火災について解説、質疑応答

- カ.聴覚障がい者団体「あたたかみハート」から、訓練の感想、困りごとのサポートについて説明(聴覚障がい、失語症、発達障がい、ヘルプカード等について(北学区役員が筆談担当を決めて対応)
- キ.災害対策本部からの総評
- ク.非常食の配布
- ケ.マンホールトイレの確認

(3)左京区総合防災訓練への参画

【日時】令和5年12月3日(日)10:00~11:30

【参画内容】

- ア.福祉避難所運営訓練
- イ.避難所における福祉スペースと福祉避難所について
- ウ.保健師活動の紹介と福祉避難所移送選定訓練
- エ.福祉避難所解説、移送選定、受入訓練

【参加者層・数】市原野自主防災会、自治連合会、学区社協、消防団、福祉施設、町内ボランティア、避難行動要支援者、各学区自主防災会、府議会議員、市議会議員、包括支援センター30名

区災害ボランティアセンターの環境整備

左京区災害ボランティアセンターマニュアルの見直し(文言の整理、チラシ・使用様式の変更箇所確認、タイムスケジュールの見直し、オンラインでのボランティア受付を想定した新しい流れの確認)

(1)左京区災害ボランティアセンター設置訓練

ア.

【日時】令和5年7月28日(金)15:00~16:30

【会場】京都工芸繊維大学

【参加者層・数】京都工芸繊維大学、市・区災害ボランティア担当10名

【主な内容】9月の実施訓練に向けて設置・運営訓練打合せ

イ.

【日時】令和5年8月1日(火)13:30~15:00

【会場】左京合同福祉センター

【参加者層・数】左京区役所地域力推進室総務・防災担当、市・区災害ボランティア担当、他区災害ボランティア担当8名

【主な内容】9月の実施訓練に向けて設置・運営訓練打合せ(マニュアル確認、役割分担)

ウ.

【日時】令和5年9月15日(金)14:00~16:00

【会場】左京区役所

【参加者層・数】市・区ボランティア担当、区防災担当、他区災害ボランティア担当、社会福祉士実習生25名

【主な内容】

- ①9月22日の設置・運営訓練に向けた事前研修
- ②災害と防災の基礎知識
- ③災害ボランティアと災害ボランティアセンターの役割
- ④災害ボランティア活動の実際(動画視聴)

エ.

【日時】令和5年9月22日(金)10:00~12:00

【会場】京都工芸繊維大学大学構内

【参加者層・数】左京区長、区防災担当、市・区災害ボランティア担当、京都工芸繊維大学、株式会社影近メンテナンス、他区災害ボランティア担当、社会福祉士実習生26名

【主な内容】

- ①設置訓練:令和4年度に作成した設置案・動線図を基に、設置訓練を実施
- ②全体で大型テントの設営
- ③各班に分かれて設置訓練を実施

オ.

【日時】令和5年9月22日(金)13:00~16:00

【会場】京都工芸繊維大学大学構内

【参加者層・数】左京区長、区防災担当、市・区災害ボランティア担当、京都工芸繊維大学、株式会社影近メンテナンス、他区災害ボランティア担当、社会福祉士実習生35名

【主な内容】

- ①運営訓練:令和4年度に作成した設置案・動線図を基に、現行マニュアルで運営訓練を実施
- ②全体説明
- ③各班の役割、ロールプレイの説明
- ④各班に分かれてボランティア役と運営役を交代で体験する
- ⑤振り返り

	<p>(2)花脊学区での災害支援 【日時】令和5年8月24日(木) 9:00～15:30 【場所】峰定寺 【参加者層・数】区防災担当、区災害ボランティア担当、地域住民10名 【内容】 ア.土砂災害の現地確認 イ.復旧作業の支援及び検討</p> <p>(3)令和5年度災害時要配慮者支援研修「多様な視点で地域の防災を考える～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～」 ※主催:京都市災害ボランティアセンター、京都市男女共同参画センターウイングス京都、京都市福祉ボランティアセンター 共催:区ボランティアセンター 【日時】令和6年2月10日(土)13:30～16:00 【参加者数】46名 【内容】災害時に要配慮者が抱える複合的な困難に対して、我々ができること、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。</p> <p>(4)災害ボランティア研修 【日時】令和6年2月25日(日) 10:00～11:00 【場所】上高野小学校 【参加者層・数】上高野ボランティア委員、区災害ボランティア担当20名 【内容】 ①災害ボランティアセンターの仕組み ②災害時に備えた平時の地域づくり</p>
4. その他 / 1 相談・コーディネート事業	<p>実施体制 職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月～金 9:00～17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応 ボランティア登録用紙を左京区社協ホームページに掲載し、区社協へ送信・送付後に初回面談の日程調整を行う</p> <p>相談対応内容 【件数】302件 【主な相談内容】 (1)配食サービス等の福祉サービスに関する問い合わせ (2)ボランティア活動(活動先、寄付先等)に関する相談 (3)生活福祉資金貸付に関する相談</p> <p>コーディネートに伴う事業 -</p> <p>ボランティアの把握 合計1,821名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)</p>
調査及び研究 4. その他 / 2	<p>調査・研究活動 社会福祉施設におけるボランティアの受け入れ状況等に関するアンケート調査を実施(左京区地域福祉推進委員会との共催)</p>
4. その他 / 3 講座・研修等の開催	<p>講座・研修等の開催 (1)認知症サポーター養成講座 ア.修学院中学校認知症サポーター養成講座(1年生) 【日時】令和5年11月14日(火)14:20～15:10 【開催回数】1回 【参加者】186名 【内容】 ①事前研修11月7日(火)(各教室にて認知症の4事例に関するVTRを鑑賞後、グループワーク及びアンケート回答) ②体育館参集型で実施 ③事前授業で学習した事例及び生徒からの質問について ④事前授業のグループワークに対して解説 ⑤学区社協会長からのメッセージ「サポーターの皆さんに期待すること」 ⑥まとめ、アンケート 【ボランティアに繋がった人数】186名</p>

イ.修学院中学校認知症サポーターフォローアップ講座(2年生)

【日時】令和5年11月15日(水)14:20~15:10

【開催回数】1回

【参加者】226名

【内容】

- ①体育館参集型で実施
- ②地域包括支援センターより事例紹介
- ③各教室でグループワーク
- ④地域包括支援センターより解説
- ⑤学区社協会長からのメッセージ「サポーターの皆さんに期待すること」
- ⑥アンケート記入

【ボランティアに繋がった人数】226名

ウ.認知症あんしんサポーター養成講座

【日時】令和6年2月13日(火)10:45~12:10

【開催回数】1回

【参加者】58名

【内容】

- ①DVD鑑賞
- ②講話(左京北地域包括支援センター)
- ③寸劇(下鴨学区社協、サービス事業所)
- ④グループワーク後、発表

(2)左京区ボランティア講座

【日時】令和5年8月5日(土)13:30~15:30

【開催回数】1回

【参加者】27名

【内容】登壇3団体から各団体の活動紹介

ア.あたたかみハート

イ.京都市要約筆記サークル「かたつむり」左京支部

ウ.京都市手話学習会「みみずく」左京支部

エ.講話「聴覚に障がいのある方の暮らしを知るとともに、自分達にできる工夫について」あたたかみハート 代表 三ツ谷 直子 氏

オ.各団体への質疑応答

カ.区ボランティアセンターからのお知らせ

キ.左京区地域支え合い活動創出コーディネーターからのお知らせ

ク.アンケート記入

(3)おもちゃ修理ボランティア「左京トイ・クリニック」

※令和3年度の養成講座(左京老人福祉センター共催)から立ち上げ

【日時】毎月第2・4木曜日 13:00~14:30

【参加者】固定ドクター6名

※活動形態は、ボランティアグループ連絡会に所属でもなく、左京老人福祉センターの同好会でもよい

【活動内容】

ア.おもちゃ修理と修理訓練

イ.2ヶ月に1回、高野児童館でオープン修理開催

ウ.東部まち美化に集まったおもちゃ修理と修理後の寄贈「おもちゃラリー」の開始

エ.SKY おもちゃ病院への見学

オ.左京ボイスでの新ドクター募集

区ボランティアセンター運営委員会

事業・財政検討委員会区ボランティアセンター事業検討

【開催回数】1回

【構成団体数】8団体

【構成団体名】

(1)学区社協(川東学区社協、大原地域社協、岡崎学区社協、松ヶ崎社協、八瀬社協、別所学区社協)

(2)区民生児童委員会

(3)公私社会福祉事業施設(花友しらかわ、ワークセンターHalle!、高野児童館)

(4)社会福祉事業団体(左京区身体障害者団体連合会)

(5)社会福祉関係団体(左京区地域女性連合会)

(6)ボランティアグループ(左京区ボランティアグループ連絡会)

(7)左京区役所健康福祉部

(8)京都府立大学

【日時】令和6年2月27日(火)

【議事内容】

- (1)地域福祉活動計画について
- (2)法人設立30周年について
- (3)区ボランティアセンター事業のあり方について
- (4)区社協事業・財政について

ボランティアグループ連絡会

左京区ボランティアグループ連絡会

【日時】令和5年5月12日(金)13:30~15:00

【開催回数】1回

【加入団体数】24団体

【加入団体名】

(1)高齢者関係7団体

葵ビエロ小物づくりボランティア、さゆり会、配食ボランティア葵、ひとりぼっちのお年寄りをなくす会、さくらんぼの会、配食サービスあんずの会、フーちゃん笑顔のつどい

(2)子ども関係6団体

子ども文庫やかまし村、図書館友の会けやき、フリースクールわく星学校、SKY おもちゃ病院、子育てママ支援サークル★はじめのいっぽ、子育てボランティアさくら会

(3)障がい者関係6団体

下鴨おもちゃの会、パセリクラブ、京都市手話学習会「みみずく」左京支部、京都市要約筆記サークル「かたつむり」左京支部、たかのおもちゃライブラリー、あたたか♡ハート

(4)その他5団体

ボランティアあゆみの会、救援ボランティア左京 SRV、京都府断崖西平安会左京支部、まちの縁側ぼかぼか茶屋、手作りアート「るーぷアート」

【主な議題】

(1)令和5年度連絡会の代表・副代表の紹介

(2)共同募金配分事業によるボランティアグループ活動助成金について

(3)活動紹介シートについて

(4)情報交換

(5)その他



左京区ボランティア講座



災ボラ設置・運営訓練

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有 【貸出し件数】284 件 【延べ利用人数】2,640 名(※共有の場合はVGのみをカウント)
	機材の貸し出し
	【貸出し件数】1,087 件(うち、印刷機器 986 件、車椅子 73 件、その他機材 28 件) 【貸出し物品】車椅子、ビデオプロジェクター、レクリエーション器具他
	ボランティア保険の加入促進
	【区内のボランティア保険加入者】67 団体 1,070 名 【行事保険】206 件 3,903 名 活動への助言、指導、支援など (1)民間助成の周知および推薦 高齢者団体助成(2 団体)、子どもの居場所助成(4 団体) (2)講師 ア.朱雀地域包括支援センター地域ケア会議にて「地域課題から見るボランティア」 イ.ユープ御所南エリア会中京 A「中京区の子どもの居場所」
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア広報紙の発行
	べんがらごうし 48 号 【回数】年 1 回発行(9 月) 【内容】 (1)地域課題に関する取組実施状況 (2)区社協カフェ事業紹介 (3)ボランティアセンター事業紹介 【発行部数】42,000 部
	その他広報物、報告書類等の発行
	(1)中京区ボランティアグループ連絡会 「中京ゆい」パンフレット 200 部 (2)ゆいちゃんプラン 320 個 (3)手話講座ポスター4,500 部 (4)いばしょクリスマス会チラシ 5,000 部 (5)ポスター4,500 部 (6)災害親子講座チラシ 5,000 部
	インターネットによる情報発信
【ホームページ・SNSの開設】あり 【その他】実施したイベントの動画撮影・編集を行った。 団体 HP での情報発信を 15 回、団体 Instagram での発信を 13 回行った。	
3. 災害対策のための環境整備事業	人材育成、啓発、ネットワーク
	おやこでまなぶ災害講座～突然の被害・地震に備えてできること～ 【日時】令和 6 年 3 月 16 日(土)10:00～12:00 【参加者層・数】小学生の親子等 36 名 【主な内容】防災に関する講義、災害時に役立つものづくり講習
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	(1)中京区障がい者相談員懇談会兼災害時の連携に向けた学習会 ※中京区地域福祉推進委員会主催、中部障害者自立支援協議会災害支援専門部会共催 【日時】令和 5 年 10 月 25 日(水)10:00～12:00 【会場】中京区役所 4 階会議室 【参加者層・数】区内の障がい者相談員、相談支援事業所、地域包括支援センター、地域福祉推進員等 41 名 (2)令和 5 年度災害時要配慮者支援研修「多様な視点で地域の防災を考える～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～」 ※主催:京都市災害ボランティアセンター、京都市男女共同参画センターウイングス京都、京都市福祉ボランティアセンター 共催:区ボランティアセンター 【日時】令和 6 年 2 月 10 日(土)13:30～16:00 【参加者数】46 名 【内容】災害時に要配慮者が抱える複合的な困難に対して、我々ができること、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備
区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】令和 6 年 3 月 1 日(金)13:00～16:00 【場所】御池創生館 【参加者層・数】学区社協役員、自主防災会役員、区役所地域力推進室総務・防災担当、区社協、市災ボラ 35 名 【内容】区災害ボランティアセンターの立ち上げや、ボランティア受入れ対応について訓練を行った。 区役所と区社協でセンターを設営(所要時間 50 分、人員 9 名)した。	

	センター設置完了後に、自主防災会・学区社協・区ボラセン運営委員会を対象に見学会&意見交換会を実施した。
4. その他 / 1 相談・コーディネート事業	実施体制 職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月～金 9:00～17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応
	相談対応内容 【件数】288件 【主な相談内容】 (1)Vしたい33件、Vしてほしい21件、その他の相談234件 (2)高齢の方や障がいのある方のどこか通える場がないか、Vしたいといった相談 (3)子ども食堂、地域の居場所の立ち上げ相談
	コーディネートを伴う事業 -
	ボランティアの把握 合計3,880名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)
4. その他 / 2 調査及び研究	調査・研究活動 (1)子どもの居場所づくりインタビュー調査報告への協力 (2)京都市社協と共同で子どもの居場所団体へのヒアリングを実施 【会場】すまいる食堂
	講座・研修等の開催 (1)福祉教育プログラムNo.6「手話で紙芝居」 【日時】令和5年11月25日(土) 【対象】御所南ウインタースクールの希望者 【実施施設】御所南小学校【開催回数】2回 【参加者数】延べ17名(各回の参加者数8名、9名) 【内容】手話大型紙芝居の鑑賞、手話で挨拶。自己紹介を学ぶ。 【協力団体】京都府聴覚障害者協会中京支部、京都市手話学習会「みみずく」中京支部昼の部 (2)誰もがくらしやすい洛中のまち 【日時】令和5年9月1日(金) 【対象】洛中小学校3年生 【実施施設】洛中小学校 【開催回数】2回 【参加者数】60名程度 【内容】ゲストティーチャー(視覚、聴覚、肢体)の話を聞く、要約筆記、手話学習、盲導犬学習、車椅子体験を行う。 【協力団体】京都市身体障害者団体連合会中京支部 (3)高倉のやさしさ 【日時】令和5年10月31日(火) 【対象】高倉小学校4年生 【実施施設】高倉小学校 【開催回数】1回 【参加者数】120名程度 【内容】ゲストティーチャー(肢体)の話を聞く、車椅子体験を行う。 【協力団体】京都市身体障害者団体連合会中京支部 (4)認知症と物忘れ 【日時】令和5年6月21日(水) 【対象】朱八学区民 【実施施設】朱八小学校ランチルーム 【開催回数】1回 【参加者数】70名程度
4. その他 / 3 講座・研修等の開催	

【内容】認知症になる前に、自分たちができる備えについて学ぶ。
【協力団体】認知症の人と家族の会中京支部

(5)高齢になること

【日時】令和5年10月24日(火)、令和5年11月12日(日)
【対象】本能学区福祉委員、本能学区民
【実施施設】本能自治会館、堀川高校
【開催回数】2回
【参加者数】延べ30名程度
【内容】高齢になるとどんなことが起きてどんなことが困るのか、どんなことを助けてもらえると嬉しいのかなど高齢者疑似体験

(6)介護勉強会

【日時】令和5年11月25日(土)
【対象】本能学区民
【実施施設】本能自治会館
【開催回数】1回
【参加者数】延べ20名程度
【内容】介護をされていた方の体験談について学ぶ。
【協力団体】認知症の人と家族の会中京支部、男性介護者TOMO、京都生協くらしの助け合いの会

(7)いきいき作品展

【日時】令和5年9月～令和6年2月
【対象】中京区民
【実施施設】元教業小学校、老人福祉センター、御池デイサービスセンター、本能自治会館、中京区役所
【参加者数】5回実施、延べ493名
【出展者】4名
【内容】区社協カフェ、老人福祉センター、御池デイサービスセンター、本能学区文化祭にて「いきいき作品展」を実施。
日常生活自立支援事業を利用されている方の得意な作品を展示し、それを見た方がコメントを書き、出展者に返す。

(8)区社協カフェ・教業ガーデン

【日時】毎月1回・随時
【参加者数】12回実施、延べ227名

(9)子どもの居場所情報交換会

【日時】令和5年7月21日(金)、12月17日(日)、令和6年1月30日(火)
【実施施設】元教業小学校
【開催回数】3回
【参加者数】延べ439名
【内容】
ア.子どもの居場所交流会
イ.いばしょクリスマス会
ウ.いばしょクリスマス会報告会
エ.子どもの居場所団体の交流および情報交換、啓発
【協力団体】地域福祉推進委員会、くらし庵、京都こどものミライ作りボレボレ、発達凹凸っ子の保護者交流会ボレボレ

(10)はじめての手話教室

【日時】令和5年8月5日(土)、8月19日(土)、8月26日(土)
【対象】中京区民、中京区に通勤、通学する人
【実施施設】元教業小学校
【開催回数】3回
【参加者数】12名
【内容】手話を学ぶ
【協力団体】京都府聴覚障害者協会中京支部、京都市手話学習会「みみずく」中京支部昼の部、夜の部

4 活動者相互の交流の促進
4. その他

区ボランティアセンター運営委員会

中京区ボランティアセンター運営委員会(令和6年1月17日(水))
【開催回数】1回
【構成団体数】15団体
【構成団体名】区社協、学区社協、民協、ボランティアNPO、当事者、施設、学識、学校、行政
【議事内容】令和5年度事業報告、令和6年度事業計画

ボランティアグループ連絡会

ボランティア・市民活動グループ連絡協議会「中京・ゆい」
【開催回数】例会6回、啓発5回、研修1回
【加入団体数】11団体

【加入団体名】中京区視覚障害者支援グループらく、京都市手話学習会「みみずく」中京支部、聴覚障害児プログラム研究会マイマイ、いきいき会、障害児学童じゃりんこ、ふれあいほうむどうぞ、京都生協とんからりin 二条、認定NPO 法人アンビシャス、中京・花とみどりの会、京都生協くらしの助け合いの会、発達凹凸っ子の保護者交流会ポレポレ

【主な議題】

- (1)情報交換
- (2)啓発活動について
- (3)スキルアップ研修について



いきいき作品展

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有 【貸出し件数】1,090 件 【延べ利用人数】12,696 名(※共有の場合はVGのみをカウント)
	機材の貸し出し
	【貸出し件数】886 件(うち、印刷機器 308 件、その他機材 578 件) 【貸出し物品】車椅子、ビデオライブラリー、ビデオプロジェクター等
	ボランティア保険の加入促進
	【区内のボランティア保険加入者】47 団体 473 名 【行事保険】25 件 1,207 名 活動への助言、指導、支援など (1)視覚障害者支援グループ「スキップ」に対する活動への助言・協働・連絡調整等の支援 (2)「ふれあい会」(東山区中途障がい者交流会)への活動援助協力 (3)「ガーデン de ひがしやま」活動(高齢者の仲間づくり・健康づくり活動)への支援 (4)子どもの居場所活動「GUM(元気・うれしい・みんな)」、東三条希望の会「協立スクール」への支援 (5)子育てコミュニティベース in「ひなたぼっこ」への支援 (6)「東山まちじゅう図書館プロジェクト」への支援(ひだまり図書館の開設)
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア広報紙の発行
	「ひがしやま」Vol. 25 【回数】年 1 回発行(2 月) 【発行部数】20,000 部(※全戸配布)
	その他広報物、報告書類等の発行
	ひがしやま petit(5 月、9 月、1 月) 【発行部数】5 月号:600 部発行、9 月号・1 月号:500 部発行
	インターネットによる情報発信 【ホームページ・SNS の開設】あり 【その他】Instagram を 31 回アップし、事業の告知及び報告を情報発信
3. 災害対策のための環境整備事業	人材育成、啓発、ネットワーク
	華頂女子高校での防災授業「防災ワークショップ」への参画(京都 DWAT 事業) 【日時】令和 5 年 9 月 20 日(水)、9 月 27 日(水) 【参加者数】95 名 【内容】京都 DWAT の周知を図るとともに避難所での福祉ニーズへの理解を深め、日頃から地域とのつながりや防災の意識を高める。
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	令和 5 年度災害時要配慮者支援研修「多様な視点で地域の防災を考える～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～」 ※主催：京都市災害ボランティアセンター、京都市男女共同参画センターウイングス京都、京都市福祉ボランティアセンター 共催：区ボランティアセンター 【日時】令和 6 年 2 月 10 日(土)13:30～16:00 【参加者数】46 名 【内容】災害時に要配慮者が抱える複合的な困難に対して、我々にはできること、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。
1 相談コーナー 4. その他 コーディネーター事業	区災害ボランティアセンターの環境整備
	区災害ボランティアセンター設置運営訓練 【日時】令和 6 年 3 月 10 日(日)8:30～11:00 【場所】元月輪小学校 【参加者層・数】住民、区役所、消防、企業、学校等 311 名 【内容】パネルラリーレットを活用し、被災地でのボランティア活動の様子や災害ボランティアセンター設置の流れなどについての啓発を実施した。
1 相談コーナー 4. その他 コーディネーター事業	実施体制
	職員 3 名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談：月～金 9:00～17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応
	相談対応内容
1 相談コーナー 4. その他 コーディネーター事業	【件数】150 件 【主な相談内容】 (1)車椅子の貸し出しについて (2)ボランティアに来てほしい、ボランティアをしたい (3)ボランティア保険について (4)備品の貸し出しについて等
	コーディネーターを伴う事業

	<p>「デイ銭湯事業」の実施 【開催日時】主に毎月第4土曜 10:00～12:00(6月、10月、12月～3月休み)、夏レク(8月) 【参加人数】延べ45名、ボランティア延べ36名、夏レク:参加者18名、関係者13名 【主な内容】入浴介助(見守り含む)、衣服着脱介助、交流 【主なコーディネート内容】運営委員会の開催、事業の企画・案内及び参加者とりまとめ</p>
<p>調査及び研究 4. その他/2</p>	<p>ボランティアの把握 合計532名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)</p>
<p>4. その他/3 講座・研修等の開催</p>	<p>調査・研究活動 -</p> <p>講座・研修等の開催 (1)認知症サポーター養成講座(栗田包括への参画) 【日時】令和5年10月4日(水)13:15～14:55 【開催回数】1回 【参加者】90名(華頂高校1年生) 【内容】認知症の基礎理解、サポーターの役割について 【ボランティアに繋がった人数】0名 (2)認知症サポーター養成講座(東山包括と共催) 【日時】令和6年2月27日(火)10:00～11:40 【開催回数】1回 【参加者】19名(東山老人福祉センター利用団体等) 【内容】認知症の基礎理解、サポーターの役割について 【ボランティアに繋がった人数】0名 (3)日吉ヶ丘高校「CⅡゼミ福祉講座特別講義福祉について学ぼう」 【日時】令和5年7月3日(月)10:35～12:05 【開催回数】1回 【参加者】13名(日吉ヶ丘高校2年生) 【内容】東山区の現状と東山区における社協のあり方や事業内容について 【ボランティアに繋がった人数】0名 (4)京都女子大学地域連携講座B2「社会福祉協議会と地域の福祉活動」 【日時】令和5年7月10日(月)10:35～12:05 【開催回数】1回 【参加者】45名(京都女子大学現代社会学部現代福祉学科2年生) 【内容】東山区の現状と東山区における社協のあり方や事業内容について 【ボランティアに繋がった人数】0名 (5)京都女子大学フィールドワークI「高齢化の現状と社会福祉協議会の活動内容」 【日時】令和5年7月10日(月)13:00～15:30 【開催回数】1回 【参加者】7名(京都女子大学現代社会学部現代福祉学科3年生) 【内容】東山区の現状と東山区における社協のあり方や事業内容について 【ボランティアに繋がった人数】0名 (6)京都国際中学校「車椅子体験学習」 【日時】令和5年11月15日(水)15:10～15:50 【開催回数】1回 【参加者】5名(京都国際中学校2年生) 【内容】障がいの種類や実際への理解、車椅子体験について 【ボランティアに繋がった人数】0名 (7)東山区地域支え合い活動入門講座(地域支え合い活動創出事業と協力) 【日時】令和5年6月29日(木)10:00～11:30、7月28日(金)13:30～14:30 【開催回数】2回 【参加者】延べ26名 【内容】高齢者を対象としたボランティアの基礎知識</p>

	<p>【ボランティアに繋がった人数】3名(登録者数)</p> <p>(8)こころの健康を考える講座～体験談を聴いてみよう～(東山区こころのふれあいネットワークと共催) 【日時】令和5年10月31日(火)14:00～15:00 【開催回数】1回 【参加者】26名 【内容】こころの病を抱える当事者の経験や思いを理解する 【ボランティアに繋がった人数】9名</p> <p>(9)要約筆記の体験講座(NPO 法人京都市中途失聴・難聴者協会東山支部、京都市要約筆記サークル「かたつむり」に協力) 【日時】令和6年2月17日(土)10:00～12:00 【開催回数】1回 【参加者】12名 【内容】要約筆記の基礎知識習得と体験 【ボランティアに繋がった人数】8名</p> <p>(10)区社協カフェワークショップ 【日時】令和5年12月19日(火)、令和6年1月24日(水)、2月28日(水)13:30～15:30 【開催回数】3回 【参加者】延べ61名 【内容】ボランティア団体・当事者団体・福祉施設を講師に、当事者の理解を深めるワークショップ等を実施 【ボランティアにつながった人】0名</p>
<p>4. その他 / 4 活動者相互の交流の促進</p>	<p>区ボランティアセンター運営委員会 東山区ボランティアセンター運営委員会 【開催回数】1回 【構成団体数】10団体 【構成団体名】学区社会福祉協議会、東山区民生児童委員会、京都手をつなぐ育成会東山支部、京都市東山青少年活動センター、東山総合支援学校、NPO 法人助けあいグループりぼん、視覚障害者支援ボランティアスキップ、京都市協東ブロック事務局、華頂短期大学准教授(学識経験者)、東山区社会福祉協議会(事務局)</p> <p>【議事内容】 (1)東山区ボランティアセンターの活動報告・事業計画について (2)意見交換会 ア.東山区内におけるボランティアに関する相談について イ. コロナ禍で工夫した取り組み、見えた課題、人とのつながりについて ウ. 情報交換</p> <p>ボランティアグループ連絡会</p>



要約筆記の体験講座①



要約筆記の体験講座②

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し 【ルーム(ビューロー)の状況】共有 【貸出し件数】176 件 【延べ利用人数】528 名(※共有の場合はVGのみをカウント)
	機材の貸し出し 【貸出し件数】122 件(うち、印刷機器 67 件、その他機材 55 件) 【貸出し物品】車椅子、アイマスク、プロジェクター、スクリーン、マイクセット、点字器、OHP、略字表他
	ボランティア保険の加入促進 【区内のボランティア保険加入者】148 団体 2,215 名 【行事保険】102 件 8,185 名
	活動への助言、指導、支援など (1)山科ボランティアグループ連絡会所属団体の活動状況の確認・助言 (2)山科身体障害者福祉会館・京都府聴覚障害者協会山科支部・京都市手話学習会「みみずく」山科支部と共催の手話講座の開催 (3)山科身体障害者福祉会館と共催・身体障がい者・聴覚障がい者関係団体 2 団体と協力した要約筆記ボランティア入門講座の開催 (4)知的障がい者施設等の 9 施設・団体との協力のもとに「ボランティア講座～知的障がいのある人とともに～」の開催 (5)山科身体障害者福祉会館と共催・視覚障がい者関係団体 3 団体の協力の元に視覚障がい者ボランティア入門講座の開催 (6)次亜塩素酸水の提供 (7)ボランティア活動支援助成の交付
	ボランティア広報紙の発行 山科ボランティアセンターだより(区社協機関誌含む) 【回数】年 1 回発行(3 月) 【発行部数】46,000 部(区内全戸・関係機関配布)
	その他広報物、報告書類等の発行 各種入門講座チラシ 【発行部数】各チラシ 5,000 部(区内回覧、関係機関配布)
	インターネットによる情報発信 【ホームページ・SNSの開設】あり 【その他】 (1)区社協ホームページ (2)京都市福祉ボランティアセンターホームページ (3)京・福祉の情報ネット (4)山科区公式アプリ「やましなプラス+」による発信 (5)ボランティア募集サイト「activo」への掲載
3. 災害対策のための環境整備事業	人材育成、啓発、ネットワーク (1)山科区防災会議への参画 【日時】令和 5 年 6 月 5 日(月)14:00～16:00 【場所】山科区役所 【参加者層・数】警察署、土木事務所、区役所等 40 名 【主な内容】 第 1 部 ア.令和 4 年度に発生した主な災害被害状況等について イ.令和 3 年 8 月の大雨により発生した災害の復旧状況について ウ.安祥寺川・四ノ宮川の河川改修について エ.防災無線の更新について オ.令和 5 年度山科区防災フェアについて カ.京都市第 4 次地震被害想定について キ.JR 線立ち往生に伴う帰宅困難事案について ク.総合防災訓練の実施について(山科刑務所情報提供) ケ.山科区防災会議規約変更について コ.各機関の緊急連絡先の共有について 第 2 部 令和 5 年度災害危険箇所調査の実施結果に関する審議
	災害時の要配慮者支援研修・訓練 (1)親子防災教室の実施 【日時】令和 6 年 2 月 22 日(木)11:00～12:00 【場所】山階児童館 【参加者層・数】乳幼児親子 5 組 【主な内容】山階児童館が定例で開催している乳幼児親子の取り組み「ちびくまちゃん」にて防災士の資格を持つボランティアグループ「ミナソラノシタ」より講師を招き、日常からできる災害への備えを学び、防災意識を高める。

	<p>(2)令和5年度災害時要配慮者支援研修「多様な視点で地域の防災を考える～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～」 ※主催：京都市災害ボランティアセンター、京都市男女共同参画センターウイングス京都、京都市福祉ボランティアセンター 共催：区ボランティアセンター 【日時】令和6年2月10日(土)13:30～16:00 【参加者数】46名 【内容】災害時に要配慮者が抱える複合的な困難に対して、我々にできること、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。</p> <p>区災害ボランティアセンターの環境整備</p> <p>(1)山科区防災フェア(山科区総合防災訓練)への参画 【日時】令和5年11月23日(木)10:00～15:00 【場所】山科中央公園 【参加者層・数】ボランティア、山科区民等100名 【内容】区民まつりと同時開催された山科区防災フェアにてブースを設置し、下記の内容を実施した。 ア.市・区災害ボランティアセンターの活動紹介(パネル展示) イ.市・区災害ボランティアセンターの活動紹介(画像・映像の映写) ウ.災害ボランティアセンター制度の周知・登録受付 エ.防災グッズの配布 オ.バルーンアート カ.フードドライブの実施</p> <p>(2)音羽川学区防災訓練への参画 【日時】令和5年11月5日(日)9:00～12:00 【場所】音羽川小学校 【参加者層・数】音羽川学区区民、消防団等100名 【内容】防災体験ブースの一つとして車椅子体験を実施し、同時に区災害ボランティアセンターの啓発も実施した。</p> <p>(3)区災害ボランティアセンター運営に関する環境整備 災害ボランティアセンター(訓練を含む)用備品として軽量型3m*3mテント3張とサイドパネル7枚を購入した。</p>
<p>4. その他 / 1 相談コーディネート事業</p>	<p>実施体制 【実施体制】職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月～金9:00～17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応</p> <p>相談対応内容 【件数】349件 【主な相談内容】 (1)福祉施設でのボランティア活動調整 (2)ボランティアしたい人へのボランティア団体・取組の紹介 (3)ボランティアしてほしい人へのボランティア団体の紹介(学区社協ボランティアセンターによるちよいボラへのつなぎ等) (4)ボランティア団体への助成金の紹介 (5)知恵シルバーセンターを活用したコーディネート2件</p> <p>コーディネートを伴う事業 -</p> <p>ボランティアの把握 合計2,215名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)</p>
<p>調査及び研究 / 4. その他 / 2</p>	<p>調査・研究活動 -</p>
<p>3 講座・研修等の開催 / 4. その他 /</p>	<p>講座・研修等の開催</p> <p>(1)視覚障がい者ボランティア入門講座 ※京都市山科身体障害者福祉会館と共催 【日時】第1回:令和5年6月24日(土)15:00～17:30、第2回令和5年7月1日(土)15:00～17:30 【開催回数】2回連続講座 【参加者】延べ16名(第1回9名、第2回7名) 【内容】視覚障がい者に関する基礎知識、ロービジョン、手引き歩行体験、点字学習等 【ボランティアに繋がった人数】不明</p>

(2)やましなふれあい手話講座

※京都市山科身体障害者福祉会館と共催

【日時】昼の部 13:30～15:00: 令和6年1月17日(水)、24日(水)、31日(水)、2月7日(水)、14日(水)
夜の部 19:00～20:30: 令和6年1月18日(木)、25日(木)、2月1日(木)、8日(木)、15日(木)

【開催回数】昼の部・夜の部各5回ずつの連続講座

【参加者】昼の部: 延べ47名(1回:10名、2回:9名、3回:8名、4回:10名、5回:10名)
夜の部: 延べ37名(1回:10名、2回:6名、3回:5名、4回:9名、5回:7名)

【内容】講座・講演・交流

【ボランティアに繋がった人数】不明

(3)やましな要約筆記(文字通訳)ボランティア入門講座

※京都市山科身体障害者福祉会館と共催

【日時】令和6年2月10日(土)13:30～16:30

【開催回数】1回

【参加者】20名

【内容】

- ア. 講義「要約筆記の概要・聴覚障がい者に関する基礎知識」
- イ. 講義&実技「三原則(速く・正しく・読みやすく)・ロール実習」
- ウ. 講義&実技「筆談・ノートテイク実習」
- エ. 講義&実技「パソコン」
- オ. 京都市要約筆記サークル「かたつむり」&「京都市要約筆記者養成講座」紹介

【ボランティアに繋がった人数】不明

(4)ボランティア講座～知的障がいのある人とともに

【日時】令和5年10月28日(土)10:00～12:00

【開催回数】1回

【参加者】23名

【内容】

- ア. 知的障がいのある人への関わりについて
- イ. 障がいのある方の社会進出
- ウ. 施設・団体紹介

【ボランティアに繋がった人数】不明

(5)福祉教育の取組推進

【日時】令和5年6月6日(火)、6月14日(水)、7月6日(木)、12月13日(水)

【開催回数】4回

【参加者】延べ276名(1回60名、2回56名、3回56名、4回104名)

【内容】

- ア. 車椅子体験について2回
- イ. 視覚障がいについて1回
- ウ. 視覚障がい・点字体験について1回

(6)山科区地域支え合い活動入門講座(独自型)

※山科区地域支え合い活動創出コーディネーター・山科区社会福祉協議会と共催

【日時】令和5年9月20日(水)10:00～16:00、10月4日(水)13:30～15:30、10月24日(火)14:00～16:00

【開催回数】3回

【参加者】延べ51名(1回26名、2回13名、3回12名)

【内容】

- ア. 苗植え体験・おれんじロードづくり
- イ. 押し花でしおりづくり
- ウ. お花のお世話の基礎知識(講座と実演)

【ボランティアに繋がった人数】10名

4 活動者相互の交流の促進
4. その他

区ボランティアセンター運営委員会

山科ボランティアセンター運営委員会

【開催回数】1回※山科ボランティアセンター運営委員会・山科ボランティアグループ連絡会合同会議として開催

【構成団体数】8団体

【構成団体名】学区社会福祉協議会、山科身体障害者福祉会館、山科区老人クラブ連合会、山科区地域女性連合会、京都橘大学、京都手をつなぐ育成会山科支部、山科ボランティアグループ連絡会、中学校校長会山科・醍醐支部(8名)

【議事内容】

- (1)令和5年度山科区ボランティアセンター事業について
- (2)令和6年度山科区ボランティアセンター事業について
- (3)意見交換(近況報告)

ボランティアグループ連絡会

山科ボランティアグループ連絡会

【開催回数】1 回※山科ボランティアセンター運営委員会・山科ボランティアグループ連絡会合同会議として開催

【加入団体数】11 団体

【加入団体名】親子支援ネットワーク♪あんだんて♪、京都市手話学習会「みみずく」山科支部、京都生協くらしの助け合いの会(山科)、
タンタンおもちゃライブラリー、NPO 法人山科醍醐こどものひろば、京都市要約筆記サークルかたつむり(山科)、
ちかぽ。(地域活動ボランティア)あそび隊、沢ネット、「鉄道展-東北を旅して」実行委員会、京都山科センター合唱団、
NPO 法人チャイルドライン京都

【参画グループとの協働活動】

- (1)山科タンタンおもちゃライブラリー:「あそびの広場実行委員会」への参画協働
- (2)京都市要約筆記サークル「かたつむり」:「やましな要約筆記ボランティア入門講座」の実施協力
- (3)NPO 法人山科醍醐こどものひろば:「フリースペース」の実施協力/「山科区の地域福祉を考える集い」におけるの実践報告
- (4)親子支援ネットワーク♪あんだんて♪:「山科区の地域福祉を考える集い」におけるの実践報告
- (5)京都市手話学習会みみずく山科支部:「やましなふれあい手話講座」の実施協力
- (6)「鉄道展東北を旅して」実行委員会:「Yamashina Exhibition いろんな作品展示会」への作品出展



要約筆記



親子防災教室

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有 【貸出し件数】164 件 【延べ利用人数】1,916 名(※共有の場合はVGのみをカウント)	
	機材の貸し出し	
	【貸出し件数】478 件(うち、印刷機器 430 件、その他機材 48 件) 【貸出し物品】車椅子、ビデオライブラリー、ビデオプロジェクター	
	ボランティア保険の加入促進	
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア広報紙の発行	
	下京区社協だより「シモギョーミーツ」 【回数】年1回発行(2月) 【発行部数】26,000部(全戸配布)	
	その他広報物、報告書類等の発行	
	-	
	インターネットによる情報発信	
3. 災害対策のための環境整備事業	【ホームページ・SNSの開設】あり 【その他】本会 HP、団体情報サーチシステムでの情報発信を随時行った	
	人材育成、啓発、ネットワーク	
	(1)親子向け防災講座の開催 【日時】令和6年1月27日(土)10:15～12:00 【場所】七条第三児童館 【内容】お菓子で備蓄を考えよう 【参加者数】50名	
	(2)まなぼうさい～楽しく防災を考えよう～の開催 【日時】令和6年2月24日(土)10:00～11:30 【場所】区社協会議室 【内容】ポリ袋クッキング 【参加者数】8名	
	(3)島原楽楽広場での防災に関する啓発 【日時】令和6年3月17日(日)14:00～15:30 【場所】島原地域包括支援センター 【内容】ゲームで防災を考えよう! 【参加者数】27名	
災害時の要配慮者支援研修・訓練		
(1)令和5年度下京区防災訓練への参画 【日時】令和5年12月10日(日)9:30～12:00 【参加者数】200名 【内容】 ア.災ボラや災害時要配慮者に関するクイズの実施 イ.パネル及び防災グッズの展示 ウ.災ボラリーフレット、ファイル等の配布による周知啓発		
(2)令和5年度災害時要配慮者支援研修「多様な視点で地域の防災を考える～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～」 ※主催:京都市災害ボランティアセンター、京都市男女共同参画センターウイングス京都、京都市福祉ボランティアセンター 共催:区ボランティアセンター 【日時】令和6年2月10日(土)13:30～16:00 【参加者数】46名 【内容】災害時に要配慮者が抱える複合的な困難に対して、我々にできること、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。		

	<p>区災害ボランティアセンターの環境整備</p> <p>区役所、設置候補地、区社協の3者による現地検証 【日時】令和5年10月2日(月)14:00~15:00 【場所】京都産業大学むすびわざ館1階会議室 【参加者数】区役所地域力推進室、京都産業大学7名 【内容】 (1)災害ボランティアセンターの役割、機能、立ち上げの流れについて確認及び現地検証の実施 (2)マニュアルや協定内容確認及び課題洗い出し</p>
4. その他 / 1 相談コーディネーター事業	<p>実施体制</p> <p>職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月~金 9:00~17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応</p>
	<p>相談対応内容</p> <p>【件数】120件 【主な相談内容】ボランティア活動に対する相談等</p>
	<p>コーディネートを伴う事業</p> <p>(1)福祉理容サービス事業 【件数】1件 【備考】理容協力店9店 【主なコーディネート内容】利用希望者の状況把握、参画理髪店のとりまとめ等</p>
	<p>(2)車椅子貸出事業 【件数】39件</p>
	<p>ボランティアの把握</p> <p>合計1,508名 集約の考え方...個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、ボランティアタンポポ、ボランティアグループせりの里、ボランティアグループ「ほっと」、下京おこしやすの会、かみふうせん、伝統芸能南京玉すだれ京都熱愛会、人形劇サークルさんりんしゃ、育児サークルプチきりん、手話サークルつぼみの会、京都市手話学習会みみずく下京支部、親子交流サークル下京こあらの会、有隣ワンダークラブ、その他VG</p>
4. その他 / 2 調査及び研究	<p>調査・研究活動</p> <p>-</p>
4. その他 / 3 講座・研修等の開催	<p>講座・研修等の開催</p> <p>(1)地域支え合い活動入門講座(標準型) 【日時】令和5年7月21日(金) 【開催回数】1回 【参加者】7名 【内容】 ア.講義(高齢者を取り巻く状況と地域の支え合い活動の推進 イ.高齢者の身体と心、暮らしを知る ウ.支え合い活動を始めるための基礎知識、活動紹介 【ボランティア繋がった人数】1名</p>
	<p>(2)地域支え合い活動入門講座(独自型) 【日時】令和5年9月29日(金) 【開催回数】1回 【参加者】9名 【内容】男のオイ(若い)活講座~男のためのシニアライフのづくり方・たしなみ方~、グループワーク 【ボランティア繋がった人数】3名</p>
	<p>(3)インクルボランティア講座 【日時】令和5年7月27日(木) 【開催回数】1回 【参加者】13名 【内容】活動の際のコミュニケーションの取り方について学ぶ 【ボランティアに繋がった人数】6名</p>
4. その他 / 4 活動者相互の交流の促進	<p>区ボランティアセンター運営委員会</p> <p>理事会 【開催回数】3回 【構成団体数】14 【構成団体名】学区社協、民生児童委員会、共同募金会、社会福祉施設、社会福祉事業団体、社会福祉関係団体、関係公務員、</p>

学識経験者

【議事内容】

- (1)第IV期地域福祉活動計画・下京やさしいまちづくり計画の推進について
- (2)区 VC 事業について
- (3)地域支え合い活動創出事業について

ボランティアグループ連絡会

下京区ボランティアグループ・サークル連絡会

【開催回数】1 回

【加入団体数】11 団体

【加入団体名】ボランティアタンポポ、ボランティアグループせりの里、ボランティアグループ「ほっと」、下京おこしやすの会、かみふうせん、
伝統芸能南京玉すだれ京都熱愛会、人形劇サークルさんりんしゃ、子育てサークルプチきりん、手話サークルつぼみの会、
京都市手話学習会「みみずく」下京支部、有隣ワンダークラブ

【主な議題】救急救命学ぼう会、情報交換会



まなぼうさい



下京区ボランティアグループ・サークル連絡会

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	【ルーム(ビューロー)の状況】共有 【貸出し件数】183 件 【延べ利用人数】2,311 名(※共有の場合はVGのみをカウント)
	機材の貸し出し	【貸出し件数】162 件(うち、印刷機器 56 件、その他機材 106 件) 【貸出し物品】車椅子、ビデオデッキ、プロジェクター、ラジカセ、アイマスク、白杖、スクリーン、マイクセット、スピーカー、印刷機、紙折り機
	ボランティア保険の加入促進	【区内のボランティア保険加入者】79 団体 955 名 【行事保険】80 件 7,272 名
	活動への助言、指導、支援など	(1)民間助成の周知および推薦 子どもの居場所助成(3 団体) (2)子ども食堂の立ち上げ及び運営支援、団体間のネットワーク化 (3)ボランティアグループの運営支援・啓発活動(広報協力等)およびボランティア活動に関する助言
	ボランティア広報紙の発行	(1)子育て支援ルーム「すくすくみなみ」のボランティア募集 子育てサポート Ma.Moon の募集 【広報物・報告書など】子育てボランティア募集チラシの作成・発行、ホームページに掲載 【回数】年 1 回 【発行部数】100 部 (2)子育て支援ルーム「すくすくみなみ」の情報発信および子ども食堂に関するボランティア相談への対応強化 【広報物・報告書など】南区トコトコお出かけマップの更新、発行 【回数】年 1 回発行 【発行部数】2,000 部 【主な内容】子育て支援ルーム「すくすくみなみ」のボランティアおよび南区内の子ども食堂の紹介
2. 情報の収集・啓発事業	その他広報物、報告書類等の発行	-
	インターネットによる情報発信	【ホームページの開設】あり(毎月更新) 【その他】 (1)南区福祉総合マップの情報更新、YouTube チャンネルの情報更新(随時) (2)子育て支援ルーム「すくすくみなみ」およびコミュニティサロンみなみの活動報告 (3)南区内の子ども食堂の紹介(紹介ページの新規作成)
	人材育成、啓発、ネットワーク	-
3. 災害対策のための環境整備事業	災害時の要配慮者支援研修・訓練	(1)中部障害者地域自立支援協議会災害支援専門部会 ア. 第 1 回研修会「障がいのある方の災害時の支援について考えてみる-阪神・淡路大震災の経験を経て-」 【日時】令和 5 年 10 月 25 日(水)10:00~12:00 【場所】中京区役所 4 階会議室 【参加者層・数】当事者団体、障害者地域生活支援センターらくなん、区社協等 37 名 【主な内容】災害時に体験した共助の大切さや福祉施設・事業所としての日頃の備えについて イ. 第 2 回研修会「東日本大震災の経験を経て-福島県の現場にいた者の心の語り-」 【日時】令和 6 年 2 月 19 日(月)14:00~17:00 【場所】中京区役所 4 階会議室 【参加者層・数】当事者団体、障害者地域生活支援センターらくなん、区社協等 36 名 【主な内容】大災害で浮き彫りになった障がい者を取り巻く環境と課題について (2)令和 5 年度災害時要配慮者支援研修「多様な視点で地域の防災を考える～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～」 ※主催:京都市災害ボランティアセンター、京都市男女共同参画センターウイングス京都、京都市福祉ボランティアセンター 共催:区ボランティアセンター 【日時】令和 6 年 2 月 10 日(土)13:30~16:00 【参加者数】46 名 【内容】災害時に要配慮者が抱える複合的な困難に対して、我々ができること、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備	

	<p>南区災害ボランティアセンター設置・運営訓練 【日時】令和6年2月15日(木)10:00～12:00 【場所】南区社協会議室・南区役所別館1階 【参加者層・数】8名(南区役所地域力推進室、市社協ボランティア支援部(市災ボラ担当)、南区社協) 【内容】区災害ボランティアセンターの立ち上げや、ボランティア受入れ対応についての流れを確認した。また設置候補地のレイアウトの見直しを行い、迅速に対応できるよう区役所職員とイメージの共有を図った。</p>
4. その他 / 1 相談・コーディネート事業	<p>実施体制 職員4名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月～金 9:00～17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応</p>
	<p>相談対応内容 【件数】171件 【主な相談内容】 (1)車椅子・機材の貸し出し相談 (2)ボランティアセンター利用相談 (3)コミュニティサロン“みなみ”利用相談 (4)子ども食堂の立ち上げ相談 (5)ボランティア活動の問い合わせ (6)生活相談等</p>
	<p>コーディネートに伴う事業 子育て支援ルーム「すくすくみなみ」 【件数】46件 【延べ人員】540名 【主なコーディネート内容】子育て支援ルームの利用者対応、ボランティア調整等</p>
	<p>ボランティアの把握 合計1,093名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VGメンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区のVG連絡会メンバー、その他区社協と関係のあるVG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPOなど)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)</p>
調査及び研究 4. その他 / 2	<p>調査・研究活動 -</p>
4. その他 / 3 講座・研修等の開催	<p>講座・研修等の開催 (1)南区ボランティア入門講座 【日時】令和5年8月4日(金)、9月5日(火)、12月2日(土)13:30～14:30、14:30～15:30 【場所】旧東和小学校、京都市南青少年活動センター、久世西老人福祉センター 【参加者】延べ28名(各回の参加者数6名、6名、5名) 【内容】学生によるスマートフォンの機能やインターネット活用のサポート(高齢者対象) 【ボランティアに繋がった人数】17名※本講座に協力してくれた大学生の人数 【協力】京都市南青少年活動センター (2)福祉教育 ア.九条中学校「車椅子・アイマスク体験」 【日時】令和5年10月26日(木)10:40～12:30 【参加者層・数】1年生56名 【協力】当事者、京都市洛南障害者授産所 【オブザーバー】学区社協、学区民協 イ.唐橋小学校「車椅子・アイマスク体験」 【日時】令和5年11月1日(水)10:40～12:15 【参加者層・数】3年生78名 【協力】学区社協、学区民協</p>
4. その他 / 4 活動者相互の交流の促進	<p>区ボランティアセンター運営委員会 理事会・評議員会 【開催回数】年2回(6月、3月) 【構成団体数】理事会(15団体)、評議員会(33団体) 【構成団体名】学区社協、学区民協、社会福祉事業団体、社会福祉関係団体、保育園園長、共同募金会、社会福祉関係行政機関等 【議事内容】 (1)事業概要も説明・共有 (2)立案推進に関する件について (3)区・学区社協ボランティア活動に関する件について</p>

(4)各分野におけるネットワークづくりに関する件について

ボランティアグループ連絡会

南区子育て支援ルーム「すくすくみなみ」運営団体交流会

【開催回数】年1回(3月)

【加入団体数】4団体

【加入団体名】子育てサポート Ma.Moon、ぴよぴよみなみん、でこぼこママ、スマイル

【主な議題】

- (1)ミニ講義「子育て支援の場での役割ややりがいについて～変わらず大切なこと・これから大切にしたいこと～」
- (2)情報交換・交流
- (3)すくすくみなみ運営マニュアル及び備品の見直し



スマホ講座



南区子育て支援ルーム「すくすくみなみ」運営団体交流会

令和5年度 右京区ボランティアセンター事業 実施報告書

京都市右京区社会福祉協議会

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	【ルーム(ビューロー)の状況】 共有 【貸出し件数】423 件 【延べ利用人数】2,927 名(※共有の場合はVGのみをカウント)
	機材の貸し出し
	【貸出し件数】294 件(うち、印刷機器:本部 76 件、京北 159 件、その他機材:本部 45 件、京北 14 件) 【貸出し物品】車椅子、ビデオライブラリー、ビデオプロジェクター
	ボランティア保険の加入促進
2. 情報の収集・啓発事業	【区内のボランティア保険加入者】114 団体、1,701 名 【行事保険】289 件、12,301 名
	活動への助言、指導、支援など
	(1)学区ボランティアスクールなどへの講師並びに講師紹介 (2)ボランティア保険加入手続き支援等
	ボランティア広報紙の発行
	(1)ウェル BOX 右京 2023 【回数】1 回(11 月) 【発行部数】59,000 部
3. 災害対策のための環境整備事業	(2)京北事務所だより 【回数】12 回 【発行部数】2,200 部/回
	その他広報物、報告書類等の発行
	(1)右京ふれあい文化交流会(10 月 28 日(土))の区社協ブースで、「右京区ボランティアグループ連絡会」の周知啓発、各団体のチラシ配架などを行った。 (2)区社協事務所配架コーナーで、市・区社協、学区社協、各種団体等の広報紙を配架。 【発行部数】各内容によって異なる。
	インターネットによる情報発信
	【ホームページ・SNSの開設】あり 【その他】区社協 HP で機材貸出情報発信、イベント情報などの収集、発信。
4. その他 1 相談・ユーティリティ事業	人材育成、啓発、ネットワーク
	学区社協におけるボランティアスクールを 4 学区で実施(嵯峨野、梅津、葛野、京北) 【内容】ヤングケアラーについて、認知症について、災害ボランティアセンターについてなど
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	(1)右京区災害ボランティアセンター設置運営・訓練 【日時】令和 5 年 10 月 11 日(水)10:00~11:30 【参加者層・数】設置候補地施設職員、右京区役所地域力推進室職員、右京区社会福祉協議会職員 6 名 【主な内容】設置運営予定場所において、区役所、設置予定施設、区社協の 3 者により、設置想定し、課題の洗い出しを実施
	(2)令和 5 年度災害時要配慮者支援研修「多様な視点で地域の防災を考える～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～」 ※主催:京都市災害ボランティアセンター、京都市男女共同参画センターウイングス京都、京都市福祉ボランティアセンター 共催:区ボランティアセンター 【日時】令和 6 年 2 月 10 日(土)13:30~16:00 【参加者数】46 名 【内容】災害時に要配慮者が抱える複合的な困難に対して、我々ができること、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。
4. その他 1 相談・ユーティリティ事業	区災害ボランティアセンターの環境整備
	右京区災害ボランティアセンター設置運営・訓練 ※再掲 【日時】令和 5 年 10 月 11 日(水)10:00~11:30 【参加者層・数】設置候補地施設職員、右京区役所地域力推進室職員、右京区社会福祉協議会職員 6 名 【主な内容】設置運営予定場所において、区役所、設置予定施設、区社協の 3 者により、設置想定し、課題の洗い出しを実施。
	実施体制
	職員 3 名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月~金 9:00~17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応
	相談対応内容
【件数】774 件 【主な相談内容】ボランティアしたい、参加したい、ボランティアを求める、寄贈・寄付相談	

	<p>コーディネートを伴う事業</p>
	<p>(1)外出支援サービス事業(福祉有償運送事業、サロン送迎、お買い物支援) 【件数】2,423 件 【延べ人員】561 名 【主なコーディネート内容】事業登録者への対応、利用登録支援、運転ボランティアの調整</p> <p>(2)声の広報コスモスグループ 【件数】16 名 【延べ人員】36 名 【主なコーディネート内容】利用登録支援、ボランティア活動調整</p> <p>(3)給食ボランティアグループ 【件数】1,596 食 【延べ人員】266 名 【主なコーディネート内容】利用登録支援、ボランティア活動調整、活動(材料費)お支払い等</p> <p>(4)サロンボランティア 【件数】213 回 【延べ人員】711 名 【主なコーディネート内容】利用登録支援、サロンボランティア活動、サロン活動内容調整等</p> <p>(5)対話ボランティア 【件数】132 件 【延べ人員】264 名 【主なコーディネート内容】事業登録者への対応、利用登録支援、対話ボランティアの調整</p>
	<p>ボランティアの把握</p>
	<p>合計 2,345 名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VG メンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区の VG 連絡会メンバー、その他区社協と関係のある VG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPO など)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例; 育成会、身障連、老人クラブなど)</p>
<p>調査及び研究 4. その他/2</p>	<p>調査・研究活動</p>
	<p>-</p>
<p>4. その他/3 講座・研修等の開催</p>	<p>講座・研修等の開催</p>
	<p>(1)右京区地域支え合い活動入門講座 【日時】令和 5 年 8 月 29 日(火) 【開催回数】1 回 【参加者】延べ 8 名(各回の参加者数) 【内容】「支え合い活動を始めるための基礎知識」をテーマに講義を実施。 【ボランティア繋がった人数】1 名</p> <p>(2)要約筆記 1 日体験教室 【日時】令和 6 年 2 月 4 日(土)13:30~15:30 【開催回数】1 回 【参加者】30 名 【内容】京都市中途失聴・難聴者協会右京支部、京都市要約筆記サークル「かたつむり」との共催により、要約筆記を体験する講座を開催。 【ボランティア繋がった人数】2 名</p> <p>(3)学区社協におけるボランティアスクール 4 学区で実施(嵯峨野、梅津、葛野、京北) 【内容】認知症について、ヤングケアラーについて、災害ボランティアセンターについて等</p>
<p>3 活動者相互の交流の促進 4. その他/</p>	<p>区ボランティアセンター運営委員会</p>
	<p>-</p> <p>ボランティアグループ連絡会</p> <p>右京区ボランティアグループ連絡会 【開催回数】10 回(本部 3 回、京北 7 回) 【加入団体数】36 団体 【加入団体名】健光園ボランティアの会、梅津富士園ボランティアの会、嵐山寮ボランティアの会「ふれんど」、右京区手話サークル連絡会、ほのほの右京、いちごクラブ、ひこばえ、たんぽぽ文庫、もみじ文庫、わたぼうし文庫、</p>

このはな文庫、菜の花グループ、鳥居グループ、四つ葉グループ、上川給食ボランティア、下弓削グループ、周山①グループ、周山③グループ、周山④グループ、宇津しゃくなげグループ、宇津あじさいグループ、向日葵グループ、井戸グループ、つづみ会グループ、ごもくめし、ゆみさかグループ、コーラスたんぽぽの会、踊りグループまほえみ、舞踊「紅会」、黒田大正琴同好会、大正琴荒田グループ、コスモスグループ、宇津しあわせグループ、京北対話ボランティア、けいまくファイブ A、運転ボランティア、サロンボランティア

【主な議題】

(1)本部

- ア.右京ふれあい文化交流会への参画について
- イ.コロナ禍を経ての各グループの活動状況について

(2)京北

- ア.コスモスボランティア交流会
- イ.対話ボランティア定期ミーティング
- ウ.サロンボランティア代表者交流会
- エ.給食ボランティア代表者会議交流会
- オ.外出支援ボランティア研修会



右京区ボランティアグループ連絡会の右京ふれあい文化交流会への参画



要約筆記 1 日体験教室

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し	
	【ルーム(ビューロー)の状況】共有	
	【貸出し件数】123 件	
	【延べ利用人数】771 名(※共有の場合はVGのみをカウント)	
	機材の貸し出し	
	【貸出し件数】263 件(うち、印刷機器 165 件、その他機材 98 件)	
	【貸出し物品】車椅子、プロジェクター、スクリーン、マイク、スピーカー、ウェブカメラ、三脚	
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア保険の加入促進	
	【区内のボランティア保険加入者】143 団体 1,796 名	
	【行事保険】161 件 9,419 名	
	活動への助言、指導、支援など	
	(1)子どもの居場所づくりの立ち上げ・運営支援	
	(2)助成申請、啓発事業の実施等、ボランティアグループの運営支援	
	ボランティア広報紙の発行	
陽だまり通信		
【回数】年 1 回発行(9 月)		
【発行部数】44,000 部		
その他広報物、報告書類等の発行		
(1)陽だまり通信		
【発行部数】44,000 部		
(2)ボランティアグループ連絡会紹介パネル		
【発行部数】1 部		
インターネットによる情報発信		
【ホームページ・SNSの開設】あり		
【その他】なし		
3. 災害対策のための環境整備事業	人材育成、啓発、ネットワーク	
	実施なし	
	災害時の要配慮者支援研修・訓練	
	(1)区の防災会議への参加	
	【日時】令和5年6月16日(金)10:00~12:00	
	【内容】 ア.令和5年度西京区防災活動計画(案) イ.令和5年度西京区災害危険箇所調査報告 ウ.令和5年度西京区総合防災訓練についての協議 エ.防災機関の報告等	
	(2)令和5年度災害時要配慮者支援研修「多様な視点で地域の防災を考える～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～」	
※主催:京都市災害ボランティアセンター、京都市男女共同参画センターウイングス京都、京都市福祉ボランティアセンター 共催:区ボランティアセンター		
【日時】令和6年2月10日(土)13:30~16:00		
【参加者数】46名		
【内容】災害時に要配慮者が抱える複合的な困難に対して、我々にできること、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。		
区災害ボランティアセンターの環境整備		
区災害ボランティアセンターマニュアルの見直し(協議)		
【日時】令和6年2月16日(金)16:00~17:00		
【場所】西京区役所応接室		
【参加者層・数】西京区役所、洛西支所、西京区社協計5名		
【内容】区災害ボランティアセンターマニュアルの見直し、資材置き場の現地確認等		
1 相談センター 4. その他 その他 コーディネーター事業	実施体制	
	職員3名体制で実施	
	【開設日】窓口・電話相談:月~金 9:00~17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応	
	相談対応内容	
	【件数】223 件	
【主な相談内容】		
(1)ボランティア・寄付相談		
(2)生活福祉資金関係		
(3)地域で対応困難の方に関する相談等		
コーディネートを伴う事業		

	<p>ボランティアの把握</p> <p>合計 1,796 名</p> <p>集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VG メンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区の VG 連絡会メンバー、その他区社協と関係のある VG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPO など)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)</p>
4. その他/2 調査及び研究	<p>調査・研究活動</p> <p>実施なし</p>
4. その他/3 講座・研修等の開催	<p>講座・研修等の開催</p> <p>ボランティア入門講座</p> <p>【日時】</p> <p>(1)令和 5 年 7 月 19 日(水)</p> <p>(2)令和 5 年 8 月 22 日(火)</p> <p>(3)令和 5 年 8 月 24 日(木)</p> <p>(4)令和 5 年 10 月 19 日(木)</p> <p>(5)令和 5 年 10 月 31 日(火)</p> <p>(6)令和 5 年 11 月 10 日(金)</p> <p>(7)令和 6 年 3 月 24 日(日)</p> <p>【開催回数】7 回</p> <p>【参加者】延べ 77 名(1)18 名(2)8 名(3)8 名(4)15 名(5)11 名(6)15 名(7)12 名)</p> <p>【内容】</p> <p>(1)(2)(3)地域支え合い活動創出事業と共催。ボランティア活動をはめるための基礎知識、実際の活動について紹介</p> <p>(4)(5)(6)(7)地域支え合い活動創出事業、子どもの居場所「支援の輪」サポート事業と共催。 ボランティア活動をはめるための基礎知識、実際の活動について紹介。</p> <p>【ボランティア繋がった人数】0 名</p>
4. その他/4 活動者相互の交流の促進	<p>区ボランティアセンター運営委員会</p> <p>理事会</p> <p>【開催回数】3 回</p> <p>【構成団体数】17 団体</p> <p>【構成団体名】学区社会福祉協議会、区民生児童委員会、公私社会福祉施設、社会福祉事業団体、社会福祉関係団体、社会福祉関係行政機関</p> <p>【議事内容】</p> <p>(1)令和 5 年度事業計画並びに収支予算</p> <p>(2)令和 4 年度事業報告並びに収支決算</p> <p>ボランティアグループ連絡会</p> <p>西京区ボランティアグループ連絡会</p> <p>【開催回数】2 回</p> <p>【加入団体数】8 団体</p> <p>【加入団体名】西京視覚障害者ボランティア「ジョイント」(障がい者支援)、拡大写本るーぺ京都(障がい者支援)、京都市手話学習会「みみずく」西京支部(障がい者支援)、洛西手話サークルたけのこ(障がい者支援)、手話サークルサンシャイン(障がい者支援)、なんじゃもんじゃ(地域福祉)、桂児童館ボランティア焼肉定食(子育て支援)、障害者ボランティアサークルプラネット(障がい者支援)</p> <p>【主な議題】</p> <p>(1)各グループの情報共有</p> <p>(2)赤い羽根共同募金(街頭啓発・報告、決算)について</p> <p>(3)助成金情報の共有、啓発事業の企画等</p>



西京老人福祉センターでのボランティア入門講座

1. 活動振興援助事業	ボランティアルーム(ビューロー)貸出し
	【ルーム(ビューロー)の状況】専有 【貸出し件数】292 件 【延べ利用人数】4,386 名(※共有の場合はVGのみをカウント)
	機材の貸し出し
	【貸出し件数】296 件(うち、印刷機器 151 件、その他機材 145 件) 【貸出し物品】車椅子、ビデオプロジェクター、スクリーン、コンパクトスピーカー、パソコン、印刷機、丁合機、紙折り機
	ボランティア保険の加入促進
	【区内のボランティア保険加入者】191 団体 1,060 名 【行事保険】203 件 15,637 名 活動への助言、指導、支援など 伏見区ボランティアグループ連絡会への研修の開催など
2. 情報の収集・啓発事業	ボランティア広報紙の発行
	伏見の「わ」/ ボランティアF 【回数】年4回発行(5月、8月、11月、2月) 【発行部数】2,000部(500部*4回)
	その他広報物、報告書類等の発行
	伏見区ボランティアグループ連絡会・伏見区ボランティアセンター紹介パンフレット 【発行部数】100部
	インターネットによる情報発信 【ホームページ・SNSの開設】 (1)伏見区社協ホームページボランティア情報の発信、イベント、講座情報発信、広報誌掲載 (2)YouTube チャンネル「伏見区社会福祉協議会」 【その他】市福祉ボランティアセンターHPにボランティア情報・イベント情報を掲載
3. 災害対策のための環境整備事業	人材育成、啓発、ネットワーク
	-
	災害時の要配慮者支援研修・訓練
	(1)伏見区総合防災訓練 【日時】令和5年12月10日(日)9:00~11:00 【参加者層・数】地域住民、関係組織・団体、区役所職員、中小企業家同友会約63名(設置運営訓練) 【参画内容】 ア.災害対策会議(オンライン視聴) イ.災害ボランティア送り出し訓練 ウ.伏見区災害ボランティアセンター設置運営訓練 ①福祉避難所プライベートスペース作成訓練 ②防災啓発ブースの運営
	(2)令和5年度災害時要配慮者支援研修「多様な視点で地域の防災を考える～福祉・多様性・男女共同参画の視点から～」 ※主催:京都市災害ボランティアセンター、京都市男女共同参画センターウイングス京都、京都市福祉ボランティアセンター 共催:区ボランティアセンター 【日時】令和6年2月10日(土)13:30~16:00 【参加者数】46名 【内容】災害時に要配慮者が抱える複合的な困難に対して、我々にはできること、平時からできる備えについて具体的に考え、学ぶ。
	区災害ボランティアセンターの環境整備
伏見区総合防災訓練 【日時】令和5年12月10日(日)9:00~11:00 【場所】醍醐寺霊宝館本館 【参加者層・数】京都中小企業家同友会伏見支部、伏見区社協職員、京都市災害ボランティアセンター等65名 【内容】啓発ブースの運営やニーズ訓練の実施し、災害ボランティアセンターの機能をより深く理解する機会の創出。	
1 相談センター 4. その他 インターネット事業	実施体制
	職員3名体制で実施 【開設日】窓口・電話相談:月~金9:00~17:00 土日、祝日、時間外は留守番電話・FAX・Eメールによる対応
	相談対応内容
	【件数】488件 【主な相談内容】 (1)生活福祉資金の制度について (2)賛助会員募集活動について (3)ボランティア活動について (4)すこやか学級等の地域活動への参加について等

	コーディネートを伴う事業	
	-	
	ボランティアの把握	
	合計 2,718 名 集約の考え方・・・個人登録者、学区社協役員(評議員、VG メンバー含む)、民生委員・老人福祉員、区の VG 連絡会メンバー、その他区社協と関係のある VG、当事者グループ等(子育てサークル、親の会、NPO など)を集計する。 ※ただし、社団法人等の法人格を有する当事者団体や、法人格は無くとも市域から各支部まで組織されている当事者団体は除く。(具体例;育成会、身障連、老人クラブなど)	
調査及び研究	4. その他/2 調査・研究活動	
	-	
4. その他/2 講座・研修等の開催	講座・研修等の開催	
	<p>(1)伏見区ボランティア入門講座 【日時】令和 5 年 11 月 10 日(金)、11 月 29 日(水) 【開催回数】2 回 【参加者】延べ 17 名(各日 9 名、8 名) 【内容】ボランティアの基礎知識の講話やボランティアグループ連絡会のグループ紹介、居場所活動をおこなっているグループのトークセッションや、視覚、聴覚に障がいがある方への支援と題し、主に実技体験を行った。 【ボランティア繋がった人数】0 名</p> <p>(2)東稜高校福祉教育 【日時】令和 5 年 5 月 29 日(月) 【開催回数】1 回 【参加者】延べ 40 名 【内容】車椅子の使用方法、校内体験</p> <p>(3)京都聖母学院高校福祉教育 【日時】令和 5 年 9 月 5 日(火)、9 月 6 日(水)、10 月 3 日(火)、10 月 4 日(水)、10 月 24 日(火)、10 月 25 日(水)、11 月 7 日(火) 【開催回数】7 回 【参加者】延べ 199 名(火曜日は 3 年生 22 名、水曜日は 2 年生 37 名) 【内容】単発の福祉教育を 2 年生、3 年生を対象に計 7 回実施</p> <p>(4)深草中学校福祉教育 【日時】 ア.令和 5 年 5 月 24 日(水) イ.令和 5 年 7 月 5 日(水) ウ.令和 5 年 8 月 30 日(水) エ.令和 5 年 9 月 27 日(水) オ.令和 5 年 11 月 8 日(水) 【開催回数】5 回 【参加者】ア.150 名、イ.20 名、ウ.20 名、エ.20 名、オ.150 名 【内容】地域の団体と一緒に活動し地域課題について学び、改善策を市議会議員に提案をする授業への協力</p> <p>(5)住吉小学校福祉教育 【日時】令和 5 年 8 月 30 日(水) 【開催回数】1 回 【参加者】延べ 56 名 【内容】車椅子体験</p> <p>(6)納所小学校福祉教育 【日時】令和 5 年 11 月 28 日(火) 【開催回数】1 回 【参加者】延べ 40 名 【内容】認知症学習、車椅子体験</p> <p>(7)砂川小学校福祉教育 【日時】令和 5 年 11 月 16 日(木) 【開催回数】1 回 【参加者】延べ 78 名 【内容】認知症学習、車椅子体験</p>	

	<p>(8)京都教育大学附属高校福祉教育 【日時】令和5年11月15日(水) 【開催回数】1回 【参加者】延べ31名 【内容】セクシャルマイリティについて「思いを聴く～当事者・当事者家族の思い～」</p> <p>(9)稲荷小学校福祉教育 【日時】令和5年12月5日(火) 【開催回数】1回 【参加者】延べ25名 【内容】認知症学習、車椅子体験</p>
4. その他 4 活動者相互の交流の促進	区ボランティアセンター運営委員会 ボランティア委員会 【開催回数】1回 【構成団体数】8団体 【構成団体名】伏見区地域女性連合会、二の丸北学区社会福祉協議会、伏見消防団、伏見区ボランティアグループ連絡会、伏見区役所地域力推進室まちづくり推進担当、藤森学区社会福祉協議会、南浜学区社会福祉協議会、京都市伏見青少年活動センター 【議事内容】 (1)令和5年度伏見区ボランティアセンター中間報告について (2)令和6年度の事業計画について
	ボランティアグループ連絡会 伏見区ボランティアグループ連絡会 【開催回数】10回 【加入団体数】7団体 【加入団体名】ねこの手、醍醐朗読ボランティアの会ひびき、手話サークルともたち、花水木の会、京都YMCA こおろぎ、ぶどうの会、京都市要約筆記サークル「かたつむり」 【主な議題】 (1)事業報告、事業計画、決算、予算について (2)各グループからの活動状況報告 (3)研修、交流会の企画、実施報告 (4)広報誌の発行について (5)伏見区ボランティア入門講座の企画、参加者データ確認、反省 (6)福祉教育の協力依頼等



ボランティア入門講座

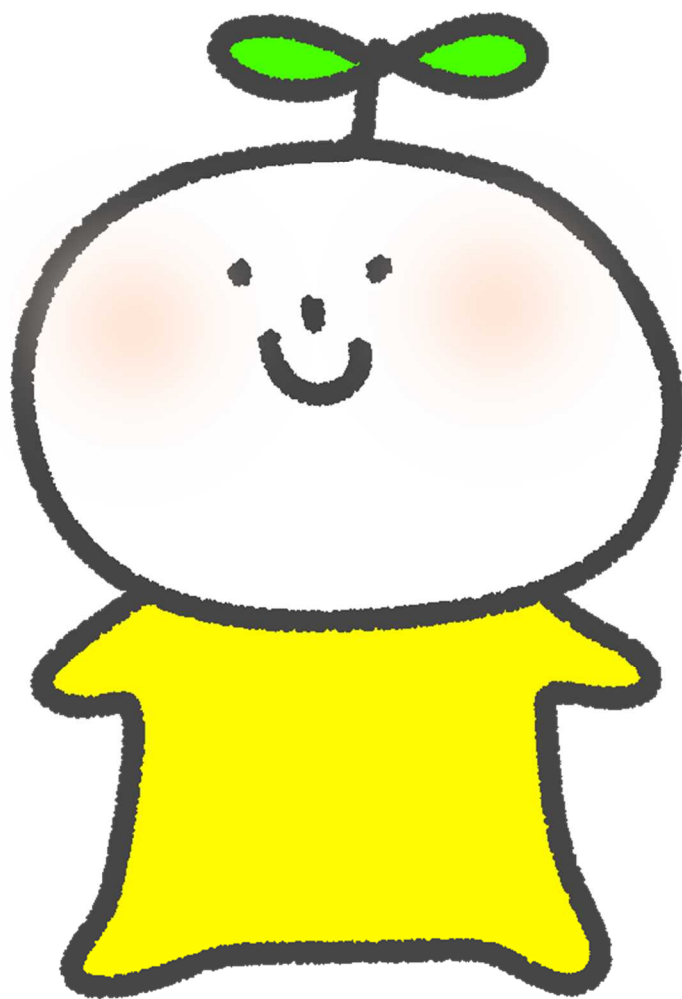
Ⅲ 参考資料



令和5年度発行 月刊誌「ボランティアズ京都」

資料1

京都市福祉ボランティアセンター実績数値(概況)



摘要	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4実績
I 区ボランティアセンターとの連携・協働															
(1)連携調整および連携事業の企画・実施															
① ボランティア・地域支援業務(区ボランティアセンター)担当者会議	回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1
(2)連携・協働による各種事業の企画・実施															
① 各種事業の企画・実施	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
II 情報収集・発信															
(1)インターネット等を活用した提供															
① ホームページによる情報発信	件	50	48	56	42	47	63	46	39	36	35	19	17	498	373
② (ボランティア京都)登録(累計) *R6.3現在で835件登録	件	0	0	0	0	1	2	1	1	0	2	2	1	10	10
(助成金情報)登録(累計) *R6.3現在で604件登録	件	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	2	0	6	6
(助成金情報)発行回数	回	5	10	10	6	7	13	8	8	7	4	7	5	90	284
③ SNSによる情報発信	件	9	8	7	8	12	10	11	10	6	9	7	6	103	108
④ 団体・活動情報サーチシステムの管理運営															
団体・活動情報サーチシステム登録(累計) *R6.3現在で191件登録	団体	199	198	196	196	196	196	196	196	193	191	191	191	191	199
ボラセンホームページへのアクセス	件	6,648	6,345	6,438	6,516	5,701	6,848	6,825	6,586	5,903	6,608	6,692	4,952	76,062	78,768
参考 ※昨年度の実績割		6.2%	10.0%	9.4%	8.7%	9.0%	8.5%	8.1%	7.5%	8.3%	8.2%	7.8%	8.3%	100.0%	100.0%
事業:目標値(月次) ※昨年度の数値		4,895	7,849	7,371	6,881	7,064	6,704	6,388	5,945	6,564	6,428	6,113	6,566	78,768	84,563
評価:達成率(月次比較)		135.9%	↓ 80.9%	↓ 87.4%	↓ 94.7%	↓ 80.8%	102.2%	106.9%	110.8%	↓ 90%	102.9%	109.5%	↓ 75.5%	↓ 96.6%	↓ 0%
達成率(累計比較)		135.9%	102%	↓ 96.6%	↓ 96.2%	↓ 93%	↓ 94.5%	↓ 96.2%	↓ 97.8%	↓ 96.9%	↓ 97.5%	↓ 98.5%	↓ 96.6%	-	-
(2)メディア等との連携															
① メディア(京都新聞等)紹介数	件	-	1	-	2	1	2	-	-	1	-	-	-	7	24
(3)各種広報物の作成・発行															
① ボランティアーズ京都(月刊紙)の発行	部	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	120,000	120,000
② 各種チラシ、リーフレット、冊子等の発行※ボランティア啓発物含む	件	1	3	4	4	4	4	3	5	4	4	3	5	44	34
	部	1,000	3,000	4,000	4,000	4,000	4,000	3,000	5,000	4,000	4,000	3,000	5,000	44,000	42,320
(4)情報の集積と管理															
① 福祉・ボランティア活動に関する資料・書籍・ビデオ数(累計)	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2,695	2,692
② チラシ配架	件	89	71	123	87	79	102	112	67	74	83	78	79	1,044	966
③ 新聞切り抜きデータ	件	9	17	5	7	7	15	15	12	11	9	19	17	143	260
III 研修・人材養成															
(1)ボランティア活動希望者および活動者に対する講座等															
① Let's ボランティア! ボランティア入門講座の開催	回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	11
	人	8	13	15	13	10	7	7	4	6	12	13	19	127	85
② Let's チャレンジ! 助成金準備講座	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5
	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	14	35
③ 思いを聴く～当事者・当事者家族～の開催	回	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	1	10	12
	人	-	44	48	30	52	34	54	21	31	54	-	30	398	521

摘要	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4実績
V 災害ボランティア活動															
(1)研修・実践訓練の実施															
① 災害ボランティア入門講座	回	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1
	人	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	29	36
② 京都市災害ボランティアセンター運営サポーター養成講座	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1
	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	28
③ 区災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施	回	-	-	-	-	-	2	2	2	2	2	4	3	17	-
④ 災害時要配慮者支援に関する研修、訓練、情報提供等	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1
	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46	-	46	30
(2)被災地へのボランティアバスの派遣															
① 被災地へのボランティアバスの派遣	人	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	73	100	173	0
(3)京都市災害ボランティアセンターとの連携 (詳細は「ボランティア支援部」にて記載)															
VI 協働・連携・ネットワーク															
(1)ボランティア・NPO団体との協働事業の実施															
① kyotoこころつながるプロジェクト	人	-	-	-	-	-	-	79	532	1,324	-	-	-	1,935	2,182
(2)企業・団体等の社会貢献活動の促進															
① セブン-イレブン・ジャパン商品寄贈	回	-	-	1	1	-	1	-	-	-	1	3	1	8	11
	箱	-	-	38	82	-	8	-	-	-	59	82	5	274	455
② 企業の社会貢献活動に関する事業への連携(寄付)	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	38
③ 企業の社会貢献活動に関する事業への連携(寄贈・その他)	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	41
(3)関係団体との連携によるイベント・講座などの開催															
① 福祉ボランティアに関連する養成講座等の協力(共催・後援・協力)	件	1	-	-	2	-	1	-	2	-	1	1	-	8	12
	人	30	-	-	325	-	不明	-	22	-	12	24	-	413	12
(4)各分野・関係センター等との連携															
① 大学ボランティアセンター等との連携	件	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	1
② 市域レベルの連絡会等との連携	回	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	6
③ 他センター委員会等への参加	回	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	23
VII 相談・コーディネート															
(1)ボランティアに関する相談・コーディネート															
① 相談者(来所、電話、Eメール等)のニーズに即したコーディネートの件数	件	101	63	66	62	73	67	56	57	44	53	85	101	828	722
② 相談業務にかかわる団体情報の更新	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
VIII 活動促進・サポート															
(1)活動のリスク対応に関するサポート															
① 福祉の保険(ボランティア保険、行事保険等)の紹介・取り次ぎ	人	(詳細は「ボランティア支援部」にて記載)													

摘要	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4実績	
VIII 活動促進・サポート																
(2)財源確保に関するサポート																
① 民間助成団体等が実施する助成事業の情報提供・活用の促進																
助成情報提供(制度件数)	件	31	35	33	29	26	40	25	20	12	9	14	24	298	284	
〃 (交付決定) *推薦団体のみ	件	-	-	-	-	1	1	1	-	-	3	-	-	6	4	
	金額	-	-	-	-	364,000	147,000	100,000	-	-	120,000	-	-	731,000	730,000	
助成事業申請に関わる連絡調整および推薦	件	-	-	-	-	1	1	2	-	-	3	-	-	7	12	
	金額	-	-	-	-	364,000	147,000	200,000	-	-	120,000	-	-	831,000	3,104,200	
② 各種表彰・顕彰等に対する推薦・照会	件	-	2	-	2	-	-	1	2	2	-	-	-	9	10	
(3)広報・情報発信に関するサポート																
① 情報発信シートの活用による広報・情報発信支援	件	50	48	56	42	47	63	45	39	36	35	19	17	497	352	
(4)組織運営、活動充実に関するサポート																
① センター施設・設備・備品の貸出し																
センター利用登録団体(累計) *R6.3現在で809件登録	団体	4	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	1	809	798	
センター来所者(3Fパーク)	人	5,530	5,387	5,347	5,409	4,914	6,364	6,242	5,840	5,497	5,217	6,180	6,377	68,304	66,718	
〃 (1日平均)※休館日を除く	人	190.7	179.6	184.4	180.3	163.8	219.4	208.1	201.4	203.6	200.7	220.7	212.6	197.1	192.0	
事業評価	参考 ※過去最高値達成年度の実績割	9.2%	7.9%	8.3%	7.9%	6.7%	7.5%	10.9%	8.4%	7.6%	8.1%	8.1%	9.5%	100.0%	1	
	目標値(月次) ※過去最高実績年度の数値	6,111	5,271	5,561	5,239	4,467	4,992	7,287	5,579	5,071	5,381	5,424	6,335	66,718	110,548	
	達成率(月次比較)	↓ 90.5%	102.3%	↓ 96.2%	103.3%	110.1%	127.5%	↓ 85.7%	104.7%	108.5%	↓ 97%	114%	100.7%	102.4%	↓ 60.4%	
	達成率(累計比較)	↓ 90.5%	↓ 96%	↓ 96%	↓ 97.8%	↓ 99.8%	104.2%	100.7%	101.2%	102%	101.5%	102.6%	102.4%	-	-	
ミーティング室利用(利用団体数)	件	81	73	81	73	74	74	90	81	77	70	79	81	934	845	
録音室利用(利用団体数)	件	4	9	12	11	8	9	11	10	9	6	8	13	110	140	
館内パソコン利用	件	11	15	9	15	8	12	10	17	9	9	14	18	147	160	
コピー・印刷機等利用料収入	円	43,020	42,985	37,150	45,975	16,700	50,105	42,455	38,570	33,045	28,625	34,550	57,470	470,650	450,122	
1Fパソコンコーナー講習・相談(利用者)	人	110	104	92	80	70	84	108	137	90	98	81	108	1,162	1,046	
〃 (ボランティア活動者)	人	114	116	110	96	108	116	115	128	100	113	101	110	1,327	1,273	
〃 (その他登録団体)	人	6	4	10	23	15	28	7	72	41	29	29	0	264	-	
ボランティアビューロー	団体	25	21	20	23	18	28	30	19	29	23	18	26	280	295	
	人	159	150	150	140	124	202	232	949	166	161	119	190	2,742	1,950	
ロッカー貸出し	団体	通年で60団体に貸出														52
その他備品(返却日で集計、貸出団体数)	件	15	18	16	23	15	15	18	25	21	14	20	18	218	196	
② 新規ボランティアグループの立上げ	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	
IX 調査・研究																
(1)ボランティア・地域福祉活動に関する調査・研究事業の実施																
① 利用登録団体のセンター利用実態調査																
	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	
	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	198	-	198	177	
③ 出張・研修																
	回	1	1	5	3	2	1	2	1	1	-	1	-	18	39	
	人	1	1	6	4	2	1	3	5	3	-	1	-	27	69	

摘要	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4実績
X センターの運営・管理															
(1)事業の企画および進行管理															
① 京都市福祉ボランティアセンター運営委員会の開催	回	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2
	人	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	14	22
(2)事業評価															
① 事業に関するアンケート調査の実施	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	44
(3)施設等の管理・運営															
① 本センターに対する意見集約(コラボレーションシート)	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
② 苦情受付	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
③ センター利用促進への取り組み(アンケート調査等)	回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1

ボランティア支援部事業

(1)京都市災害ボランティアセンターの共同運営[再掲]															
① 京都市災害ボランティアセンター役員会の開催	回	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	2
② 京都市災害ボランティアセンター運営会議の開催	回	1	-	1	-	2	-	1	-	1	3	2	1	12	9
(2)災害ボランティアセンター事業の推進[共同実施]															
① 研修、訓練、情報提供等の関連事業の実施	回	1	-	-	1	-	1	1	3	2	-	1	1	11	10
	人	39	-	-	10	-	7	615	116	40	-	46	18	891	325
② 他都市被災地に対する後方支援	回	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	4	0
③ 災害時のボランティア活動の環境整備	回	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	1	5	2
④ 区災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施	回	-	-	2	1	1	3	1	-	5	-	3	2	18	16
	人	-	-	147	8	25	86	6	-	328	-	58	346	1,004	672
⑤ 京都府災害ボランティアセンターとの連携(ボランティアバス派遣)	回	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	4	0
(3)福祉の保険の取り扱いと加入の促進															
① 福祉の保険(ボランティア保険、行事保険等)の取り扱いと加入の促進															
福祉行事保険(加入者)(累計)	団体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
	人	22,657	34,359	43,462	57,163	67,111	81,355	97,230	120,982	127,136	132,492	140,617	144,902	144,902	87,938
ボランティア保険(加入者)(累計)	件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
	人	24,462	26,460	27,949	28,886	29,673	30,076	30,831	31,121	31,273	31,478	31,771	31,859	31,859	32,041
ボランティア保険・行事保険事故件数(累計)	件	上半期合計 34件(行事保険 9件、ボランティア保険 25件)				下半期合計39件(行事保険12件、ボランティア保険27件)				73		103			
(4)その他															
① 寄付・寄贈	件	1	2	-	-	12	4	-	-	16	1	1	13	53	79
② きょうと「こどもみらい笑顔便」	世帯	-	-	-	-	61	-	-	-	69	-	-	99	229	256

資料2

京都市福祉ボランティアセンター要綱等



コピー機
用紙不要
枚数が少ない場合や
冊子仕上げにオススメ

	白黒	カラー
利用登録団体のみ	1面 5円	1面 30円

(2023/4/1現在)

印刷機
別途用紙必要
同じ物を大量に
印刷する際にオススメ

	製版	インク代
利用登録団体のみ	1版 30円	50面 5円

(2023/4/1現在)

丁合機
印刷物を順番に並べる

裁断機
用紙を裁断する

穴開けパンチ
電動タイプ

紙折り機
三つ折りや
四つ折りも可

@ 録音室
今回は録音室を紹介するね!

「パソコンボランティアネットワークきょうと」に
登録している団体が利用できる講習スペースだよ
※市民のみなさんは受講者としてご利用いただけます

パソコンボランティアネットワークきょうとに
加入している団体が利用しています。

京都市福祉ボランティアセンター利用要綱

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

(目的)

第1条 この要綱は、社会福祉法人京都市社会福祉協議会（以下「本会」という。）が、京都市福祉ボランティアセンター条例（以下「条例」という。）及び同条例施行規則（以下「施行規則」という。）に基づいて、福祉に関するボランティア活動等を行う京都市内の団体や個人の活動を支援し、その用に供するため、施設・設備の利用及び備品の貸出し等に関して必要な事項を定める。

(利用者の範囲)

第2条 京都市福祉ボランティアセンター（以下「センター」という。）の施設・設備及び備品を利用できる者は以下のとおりとする。

- (1) 福祉に関するボランティア活動等を行う団体・個人。
- (2) (1)に該当する活動を今後行おうとしている、もしくは興味がある団体・個人等。

2 前項に該当する団体・個人であっても、以下の要件に該当する場合は、センターを利用することができない。

- (1) 利潤追求を主たる目的とする場合。
- (2) 宗教活動を主たる目的とする場合。
- (3) 特定の公職者(候補者を含む)または政党の推薦・支持・反対を目的とする場合。
- (4) 暴力団またはその関係者。

(施設の種類)

第3条 センター内の利用できる施設は、次のとおりとする。

- (1) ボランティアパーク
- (2) ボランティア情報コーナー
- (3) ミーティング室1・2
- (4) 印刷室
- (5) 録音室
- (6) ボランティアビューロー

(施設の利用方法と利用時間)

第4条 前条に掲げる施設の利用方法と利用時間は次（別表）のとおりとする。

施設名	利用方法	利用できる時間
ボランティアパーク	自由利用	月曜～土曜 9時～21時
ボランティア情報コーナー		日曜・祝日 9時～17時
印刷室		
ボランティアビューロー		
ミーティング室1・2	予約制	月曜～土曜 { 午前(9時～12時) 午後(13時～17時) 夜間(18時～21時)
録音室		日曜・祝日 { 午前(9時～12時) 午後(13時～17時)

(利用の登録)

第5条 前条に掲げる施設のうち、予約が必要な施設を利用できるのは、本会に「施設利用登録申請書」(様式①)により利用登録をし、承認を受けた者とする。

2 本会は利用登録の申請に基づき、承認した団体・個人等に対し「利用登録カード」(様式②)を発行するものとする。

(施設の利用申込み・受付)

第6条 予約が必要な施設を利用しようとする際は、事前に「施設利用申込書」(様式③)を提出し、利用の許可を受けることとする。

2 施設の利用申込みは、利用日の3か月前の同日(休所日の場合はその翌日)から当日まで、窓口において申込書の提出により先着順で受付することとする。また、利用予約は電話やFAX、Eメールによっても申込みことができるものとする。

3 電話やFAX、Eメールにて申込んだ場合は、本申請のために申込日から1か月以内に窓口へ申込書を提出することとする。また、申込書はFAXやEメールによっても受付することとする。期間内に申込書の提出がない場合、申込みは無効とする。

4 受付時間は、センターの開所時間内とする。

5 利用申込み回数は、一つの使用時間帯を1回とし、原則として月曜日から日曜日までの1週間のうち、1回までとする。

6 前項の規定に関わらず利用日の1か月前の同日(休所日の場合はその翌日)に至ってなお申込み状況に空きがあれば、制限回数を超えて申込みすることができる。

7 ミーティング室の利用は、原則として利用人数が12名以下であれば、ミーティング室1・2を同時に使用することはできない。

8 その他複数の施設の同時利用は、利用する内容によってセンター所長が許可するものとする。

(設備の種類)

第7条 各施設に付属する設備は、付属設備一覧【別表1】のとおりとする。

(設備の利用)

第8条 各施設に付属する設備の利用は別に定める“付属設備利用細則”のとおりとする。

(備品の種類)

第9条 センターの備品のうち利用または貸出すことができるものを、貸出し備品一覧【別表2】のとおりとする。

(備品の使用申込み・受付)

第10条 備品を使用しようとする者は、事前に「備品使用申込書」(様式④)〔※パソコンについては「パソコン・プリンター使用申込書」(様式⑤)〕をセンター窓口へ提出することで、使用の許可を受けることとする。

2 備品の使用申込みは、利用日の3か月前の同日(休所日の場合はその翌日)から当日まで、センター窓口において申込書の提出により先着順で受付することとする。また、使用予約は電話やFAX、Eメールによっても申込みができるものとする。

3 電話やFAX、Eメールにて申込んだ場合は、本申請のために申込日から1か月以内に窓口へ申込書を提出することとする。また、申込書はFAXやEメールによっても受付することとする。期間内に申込書の提出がない場合、申込みは無効とする。

4 受付時間は、センターの開所時間内とする。

5 使用後は「備品使用報告書」(様式④)〔※パソコンについては「パソコン・プリンター使用状況報告書」(様式⑤)〕と共にセンターへ返却することとする。

(備品の貸出し)

第11条 ボランティア活動の振興を図るため、第9条に規定する備品の一部をセンター外に貸出すことができるものとする。

2 センター外に貸出しする期間は、原則として1週間以内とする。ただし、センター所長が許可した場合、1か月以内の期間、貸出しを延長することができる。

3 貸出し備品の使用予定会場に同等の備品がある場合は、備品の貸出しは不可とする。また、他の公共施設等において有料で貸出ししている同等の備品があり、そこで使用する場合、備品の貸出しは不可とする。

(施設・備品の申込みのキャンセル)

第12条 施設・備品の申込みをキャンセルする場合は、原則として前日までにセンターへ連絡することとする。また、申込みのキャンセルは、窓口だけでなく、電話やFAX、Eメールによっても受け付けることができるものとする。

2 やむを得ず当日にキャンセルする場合は、利用開始時刻までに連絡するものとする。

3 無断で利用されなかった場合は、センター所長が次回からの利用を断る場合がある。

(利用料)

第13条 施設・設備及び備品の利用料金については無料とする。ただし、一部設備（印刷機等）の利用については、“付属設備利用細則”に定める実費を徴収する。

(利用の例外)

第14条 センターの管理運営や業務の都合上、前条の規定や申込書の提出・予約の有無に関わらず、センター所長がやむを得ず利用を断る場合がある。

(利用条件・遵守事項)

第15条 施設・設備及び備品等を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 利用時間・貸出し期間を厳守すること。
- (2) 利用した施設・設備及び備品等を現状に回復し、清掃のうえ、センターに終了報告すること。
- (3) 施設・設備及び備品等が故障、破損、停止および消耗品切れ等不都合が生じた場合は、速やかにセンターに報告すること。
- (4) 利用者の不注意（並びに故意）により、備品・設備の故障、破損、紛失、盗難等が認められた場合には、利用団体が相当する費用を弁償することとする。
- (5) 備品の第三者への譲渡、質入れ、転貸等の処分、並びに改造、改装は利用団体が相当する費用を弁償するとともに利用を停止し、以後の利用を禁止する。

(付 則)

第16条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は京都市社会福祉協議会会長がこれを定める。

- 2 この要綱は、平成15年6月23日より施行する。
この要綱は、平成19年5月1日より一部改正する。
この要綱は、平成23年4月1日より一部改正する。
この要綱は、平成25年4月1日より一部改正する。
この要綱は、令和2年4月1日より一部改正する。
この要綱は、令和4年2月1日より一部改正する。
この要綱は、令和4年6月1日より一部改正する。

付属設備利用細則

京都市福祉ボランティアセンター

○ ボランティアパーク付属設備

(1) コインロッカー（団体貸出し用）の利用について

- ① コインロッカーの鍵はセンターが管理することとし、センターは「ロッカーカード」（様式⑥）を5枚作成して利用団体に渡すこととする。
- ② 鍵の受渡しに際して、センターは「ロッカーカード」を持参した利用者のみに対して鍵の受渡しを行うこととし、その都度の身分確認は行わないため、利用団体は「ロッカーカード」を自己責任において厳重に管理することとする。
- ③ コインロッカー利用後は、速やかに鍵をセンターに返却し、「ロッカーカード」を受取ることとする。
- ④ 「ロッカーカード」を紛失した場合には、速やかにセンターに届け出るものとする。
- ⑤ コインロッカーの利用目的は、印刷物・印刷用紙等の一時保管、その他活動に関わる荷物の一時保管とし、貴重品、危険物、生もの等をロッカーに保管してはならない。
- ⑥ 緊急時等、センター所長が必要やむを得ないと判断した場合には、利用団体の了承なしにコインロッカーを開けることができるものとする。

(2) 掲示板・情報ラックの利用について

- ① ボランティアパーク内の掲示板・情報ラックへの、チラシ・パンフレット・ポスター等の掲示・掲出依頼は「配架依頼」（様式⑦）により、センター窓口または郵送にて受付ける。
- ② 掲示・掲出の可否および場所については、センターが決定する。
- ③ 掲示・掲出を行う期間は、イベント等の期日が決定しているものについてはその当日まで、その他のものについては受付日より3ヶ月間とする。
- ④ チラシ・パンフレットの受付け部数が無くなった場合、掲示・掲出の期間内であっても、基本的にセンターでの補充は行わない。

○ ボランティア情報コーナー付属設備

(1) 各種資料・図書の利用について

- ① ボランティア情報コーナーにおける各種資料・図書は閲覧専用とし、センター外への持出しを禁止する。

(2) パソコン・プリンターの利用について

- ① パソコン、プリンターの利用については、センター窓口において「パソコン・プリンター使用申込書」（様式⑤）を提出することで、利用できるものとする。利用希望者が複数いる場合は、先着順とする。

- ② 利用後は「パソコン・プリンター使用状況報告書」(様式⑤)と共にセンターへ返却することとする。

(3) 大判プリンターの利用について

- ① 大判プリンターは、使用申込書(様式⑧)の提出により受付ける。
- ② 大判プリンターの利用申込みは、全日9時から16時(休所日を除く)に受付けることとする。

○ 印刷室・録音室付属設備

(1) 印刷機・コピー機・丁合機・紙折機・断裁機・点字プリンター等の利用について

- ① 印刷室に付属する設備は、基本的に予約なしでも利用できることとするが、印刷機についてのみ必要に応じて利用予約を受付けることとし、その受付方法は利用要綱第6条の第3項・4項を適用する。
- ② 印刷機を利用するものは、各自で用紙を持込むこととする。
- ③ 印刷・コピー・プリントアウトは、ボランティア・市民活動に関するものに限る。

○ 印刷機・コピー機・プリンター・点字プリンター・大型プリンターの利用料金について
利用の際は、実費の一部として以下の料金を徴収する。

		利用登録承認団体等	左項以外の利用者
印刷	製版代	1版につき40円	1版につき50円
	インク代	印刷100面につき10円	1面1円
コピー プリントアウト		1面につき5円	1面につき7円
電動ホッチキス		針100本につき20円	
点字プリント		専用用紙1枚につき5円	
大判 プリンター	横断幕	普通紙：15円 (長さ1cmあたり)	
		光沢紙：25円 (長さ1cmあたり)	
	A1大判ポ スター	普通紙：2500円/枚	
		光沢紙：3500円/枚	

付則

この細則は、平成25年4月1日より施行する。

この細則は、令和2年4月1日より一部改正する。

【別表 1】

付属設備一覧

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

センター施設に付属する設備は以下の表のとおりとする。

令和5年3月31日現在

施設名	付属設備
ボランティアパーク	机、椅子 コインロッカー（団体貸出し用） 掲示板、情報ラック 血圧計、サーキュレーター
ボランティア情報コーナー	机、椅子 パソコン（デスクトップ）、プリンター 大判プリンター 書架（図書・雑誌・その他資料）
ミーティング室1・2	机、椅子 ホワイトボード、プラズマディスプレイ スクリーン、映写台 サーキュレーター、オゾン除菌消臭器
印刷室	作業机、椅子 コピー機、印刷機 丁合機、紙折り機 断裁機、電動パンチ
録音室	机、椅子 録音機器 点字プリンター
ボランティアビューロー	机、椅子 保管庫（団体貸出し用） 掲示板、情報ラック
ボランティアセンター カウンター	電子レジスター、デジタルはかり 音声翻訳機、電子メモパッド（筆談用） カウンター型ヒアリンググループシステム 非接触型体温計、オゾン除菌消臭器

【別表2】

貸出し備品一覧

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

センターの貸出し備品は以下の表のとおりとする。

令和5年3月31日現在

備品名	付属品	備考	収納場所	交流館外貸し出し
液晶プロジェクターNo. 1	電源コード、3色AVケーブル、RGBケーブル、HDMIケーブル、リモコン、変換アダプター		3F 倉庫	可 (ただし 館内会議室 等での 使用不可)
液晶プロジェクターNo. 2	電源コード、3色AVケーブル、RGBケーブル、HDMIケーブル、リモコン、変換アダプター		3F 倉庫	
液晶プロジェクターNo. 3	電源コード、3色AVケーブル、RGBケーブル、HDMIケーブル、リモコン、変換アダプター		3F 倉庫	
ブルーレイプレーヤーNo. 1	HDMIケーブル、音声ケーブル、リモコン、電源コード		3F 倉庫	
ブルーレイプレーヤーNo. 2	HDMIケーブル、音声ケーブル、リモコン、電源コード		3F 倉庫	
DVD/ビデオプレーヤーNo. 1	電源コード、リモコン、AVケーブル	ステレオ	3F 倉庫	
DVD/ビデオプレーヤーNo. 2	電源コード、リモコン、AVケーブル	ステレオ	3F 倉庫	
マイクセット (ワイヤレスアンプ+マイク×3)	ワイヤレスマイク×2、有線マイク×1		3F 倉庫	
OHC No.1	電源コード、リモコン		3F 倉庫	可
OHC No.2	電源コード、VGAケーブル、USBケーブル、マウス、リモコン	PCに利用可	3F 倉庫	
スクリーンNo.1 (122cm×91 cm)	収納ケース (12x11x141cm)	60インチ 6.4kg	3F 倉庫	
スクリーンNo.2 (162cm×122 cm)	収納ケース (12x14x176cm)	80インチ 8.9kg	3F 倉庫	
スクリーンNo.3 (162cm×122 cm)	収納ケース (12x14x176cm)	80インチ 8.9kg	3F 倉庫	
ヒアリングループ No.1	アンプ本体、ループ		3F 倉庫	
ヒアリングループ No.2	アンプ本体、ループ		3F 倉庫	
カウンター型 ヒアリングループシステム	アンプ本体、パネル式ループアンテナ、フレキシブルマイク、タイピン型ワイヤレスマイク、受信機、ロッドアンテナ		3F 倉庫	
ドラムコード (屋外用 30m)			3F 倉庫	
車イス 12台 (No. 1~No. 12)			1F 倉庫	
外付けスピーカー	電源コード	PC他に利用可	3F 倉庫	
ウィンドウズ PC ノート型 (※) ×6	電源コード、マウス		3F 受付	
CD カセットデッキ	電源コード		3F 倉庫	

(※) ウィンドウズ PC ノート型 (2台) には視覚障害者向けのソフトとして、EXTRA for Windows Ver. 6 が導入されています。

京都市福祉ボランティアセンター運営委員会要綱

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

(設 置)

第1条 社会福祉法人京都市社会福祉協議会（以下「本会」という。）の定款第20条「部会及び委員会」に基づき、京都市福祉ボランティアセンター（以下「センター」という。）の運営を円滑に行い、かつボランティア・地域福祉推進団体相互の協働と連携を促進するため京都市福祉ボランティアセンター運営委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(委員会の所管事項)

第2条 委員会の所管事項は、次のとおりとする。

- (1) センター事業の企画立案に関すること
- (2) センターの事業計画・報告、予算・決算に関すること
- (3) センター事業の進行管理、評価に関すること
- (4) センターの施設・設備の利用促進と整備・充実にに関すること
- (5) その他、センター事業及び地域福祉推進に係る事項に関すること

(構成並びに役員)

第3条 委員会の委員は、次に掲げる者の中から、本会会長が委嘱する。

- (1) 京都市社会福祉協議会関係者
- (2) 区ボランティアセンター関係者
- (3) ボランティア・市民活動推進団体関係者
- (4) 福祉団体・施設関係者
- (5) 企業団体等関係者
- (6) マスコミ・報道機関関係者
- (7) 学識経験者
- (8) 行政関係者
- (9) 本センター利用登録団体

2 前項の規定に拘わらず、本会々長が特に必要と認める場合には、委員の選任の範囲はこの限りでない。

3 委員会の委員の任期は、2年とし、本会役員在任期間と同様とする。ただし、委員交替で、補充により委員会の委員に就任した者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員会の運営)

第4条 委員会に、つぎの役員を置く。

- (1) 委員長 1名
 - (2) 副委員長 1名
- 2 委員長は、本会役員の中から、会長が任命する。
 - 3 副委員長は、委員会の委員の中から、会長が任命する。
 - 4 委員会は、委員長が招集し、会議の議長をつとめる。
 - 5 委員長は会務を総括し、委員長に事故あるときは、副委員長が職務を代理する。
 - 6 委員会は、必要に応じ関係者の出席を求めることができる。

(事務局)

第5条 委員会の事務は、京都市福祉ボランティアセンターにおいて処理する。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

付 則

1. この要綱は、平成15年5月28日より施行する。
2. この要綱は、平成24年1月25日より一部改定する。
3. この要綱は、平成26年1月26日より一部改正する。

ボランティア・市民活動に関する情報収集・発信事業 実施要綱

京都市福祉ボランティアセンター

1. 趣旨

京都市におけるボランティア・市民活動の中核である京都市福祉ボランティアセンター（以下、「センター」という。）として、ボランティアに関する各種情報を広く一般市民に向けて発信することにより、ボランティア活動の振興と促進を図ることを目的とする。

2. 内容

ボランティアに関する各種情報を下記の方法により発信する。なお、情報発信方法は情報の種類により原則としてセンターで判断する。

- (1) センターホームページ
- (2) メールマガジン
- (3) 月刊紙、季刊誌
- (4) チラシ、ポスター類の掲出・掲示
- (5) テレビ・ラジオ等のマスメディア

3. 発信できる情報

- (1) 団体情報
団体（ボランティアグループやNPO等の活動団体）の概要
- (2) イベント情報
団体が実施する講演会、研修、シンポジウム、展示会等に関する情報
- (3) ボランティア・スタッフ募集情報
団体が募集するボランティアやスタッフに関する情報
- (4) ボランティア・人材提供情報
団体が派遣・提供するボランティア等に関する情報
- (5) 寄付金・物品募集情報
団体が募集する物品、募金、寄付金等に関する情報

4. 発信できない情報

次のうちのいずれかに該当する情報は発信しない。

- (1) 他人を誹謗、中傷し又は差別するもの
- (2) 他人のプライバシーを侵害するもの
- (3) 著作権等の知的財産権を侵害するもの
- (4) 犯罪行為を誘発するようなもの
- (5) 営利を目的とする広告、宣伝等
- (6) 選挙運動等の政治活動を目的とするもの

- (7) 布教等、宗教活動を目的とするもの
- (8) 法令等に違反、もしくは違反するおそれのあるもの
- (9) わいせつ、残虐等、公序良俗に反するもの
- (10) その他、情報発信事業の趣旨に反するもの

5. 備考

- (1) 次のうちのいずれかに該当する場合、事前に通告することなく情報提供を中断することがある。
 - ①ホームページ、メールマガジンのシステムの保守点検を定期的又は緊急に行う場合
 - ②火災、停電等により情報提供ができなくなった場合
 - ③天災地変等により情報提供ができなくなった場合
 - ④その他、センターが一時的な中断が必要と判断した場合

- (2) 各種情報発信方法における情報の変更、中止、中断等又は掲載した情報により団体が被った損害に対し、センターは一切の責任を負わない。また、団体が掲載した情報により第三者に損害が生じた場合は、当該団体の責任において対応することとする。

附 則

この要綱は平成16年6月18日より施行する。

運用ポリシー

開設所属	京都市福祉ボランティアセンター
発信情報	(1) 本センターが実施する事業の告知・報告等 (2) 本センターが発信しているボランティア募集やイベント情報
利用目的	幅広い世代に向けて情報発信を強化し、ボランティア活動への参加を促進するため。
利用するソーシャルメディアの種類	<input checked="" type="checkbox"/> ツイッター <input checked="" type="checkbox"/> フェイスブック <input checked="" type="checkbox"/> その他 (インスタグラム)
アカウント	京都市福祉ボランティアセンター
登録URL	(ツイッター) https://twitter.com/kyoto_vora (フェイスブック) https://www.facebook.com/京都市福祉ボランティアセンター-1347786861957064/ (インスタグラム) https://www.instagram.com/kyotocityvinfo/?hl=ja
運用期間	平成29年10月3日 ~ 年 月 日
運用時間	月曜日から金曜日までの9時00分から17時00分までとします。(土曜日、日曜日、祝祭日及び年末年始を除く)。ただし、それ以外の時間に発信する場合があります。
投稿に対する返信	運用者は必要に応じて回答を行います。ただし、運用者が全ての投稿を閲覧し投稿に対して回答することを保証するものではありません。
備考	令和5年3月 インスタグラムを追加

(その他)

1 注意事項

以下に定める投稿は禁止しておりますので、予告なく削除することがあります。

- (1) 法律、法令等に違反する内容、又は違反するおそれがあるもの
- (2) 特定の個人・団体等を誹謗 中傷するもの
- (3) 政治、宗教活動を目的とするもの
- (4) 著作権、商標権、肖像権など京都市社会福祉協議会又は第三者の知的所有権を侵害するもの
- (5) 広告、宣伝、勧誘、営業活動、その他営利を目的とするもの
- (6) 人種・思想・信条等の差別又は差別を助長させるもの
- (7) 公の秩序又は善良の風俗に反するもの
- (8) 虚偽や事実と異なる内容及び根拠のないもの
- (9) 本人の承諾なく個人情報を特定・開示・漏えいする等プライバシーを害するもの
- (10) その他京都市社会福祉協議会が不適切と判断した情報及びこれらの内容を含むホームページへのリンク

2 知的財産権

当ページに掲載している個々の情報(テキスト、画像等)に関する知的財産権は、京都市社会福祉協議会又は原作者に帰属します。また、内容について「私的使用のための複製」や「引用」など著作権

法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

3 免責事項

(1)京都市社会福祉協議会は、利用者間もしくは利用者と第三者間のトラブルにより、利用者又は第三者に生じたどのような損害についても、一切の責任を負いません。

(2) 京都市社会福祉協議会は、予告なく運用ポリシーの変更や運用方法の見直し又は運用を中止する場合があります。

令和5年度（2023年度）京都市福祉ボランティアセンター事業年報

発行：京都市福祉ボランティアセンター

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83-1（河原町五条下る東側）

「ひと・まち交流館 京都」3階

TEL：075-354-8735 FAX：075-354-8738

E-mail：v.info@hitomachi-kyoto.jp

URL：<https://v.hitomachi-kyoto.jp>

資金収支計算書

(自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日)

(単位:円) 1頁

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	74,537,000	74,537,000		
	市受託金収入	74,537,000	74,537,000		
	その他の収入	500,000	471,571	28,429	
	雑収入	500,000	471,571	28,429	
	事業活動収入計(1)	75,037,000	75,008,571	28,429	
	支出				
	人件費支出	42,817,000	42,817,000		
	職員給料支出	28,647,000	28,647,000		
	職員賞与支出	7,560,000	7,560,000		
	法定福利費支出	6,610,000	6,610,000		
	事業費支出	19,950,000	19,112,006	837,994	
	諸謝金支出	1,660,000	1,611,096	48,904	
	旅費交通費支出	100,000	46,736	53,264	
	消耗器具備品費支出	5,552,000	5,550,602	1,398	
	印刷製本費支出	625,000	525,312	99,688	
	修繕費支出	300,000	233,806	66,194	
	通信運搬費支出	1,730,000	1,661,334	68,666	
	広報費支出	4,078,000	3,935,800	142,200	
	業務委託費支出	5,489,000	5,400,000	89,000	
	手数料支出	10,000	2,310	7,690	
	保険料支出	56,000	27,680	28,320	
	賃借料支出	300,000	79,670	220,330	
租税公課支出	10,000		10,000		
雑支出	40,000	37,660	2,340		
事務費支出	9,970,000	9,964,830	5,170		
福利厚生費支出	75,000	74,882	118		
旅費交通費支出	115,000	114,100	900		
研修研究費支出	129,000	128,550	450		
事務消耗品費支出	493,000	492,573	427		
印刷製本費支出	1,701,000	1,700,156	844		
光熱水費支出	1,879,000	1,878,842	158		
通信運搬費支出	565,000	564,188	812		
手数料支出	1,000	880	120		
保険料支出	5,000	4,010	990		
賃借料支出	668,000	667,920	80		
租税公課支出	4,319,000	4,318,729	271		
雑支出	20,000	20,000			
事業活動支出計(2)	72,737,000	71,893,836	843,164		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	2,300,000	3,114,735	△814,735		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
施設整備等支出計(5)					
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)					
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	拠点区分間繰入金支出	2,300,000	3,080,040	△780,040	
	拠点区分間繰入金支出	2,300,000	3,080,040	△780,040	
	その他の活動支出計(8)	2,300,000	3,080,040	△780,040	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△2,300,000	△3,080,040	780,040		
予備費支出(10)					
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		34,695	△34,695		
前期末支払資金残高(12)	32,339,000	32,339,094	△94		
当期末支払資金残高(11)+(12)	32,339,000	32,373,789	△34,789		